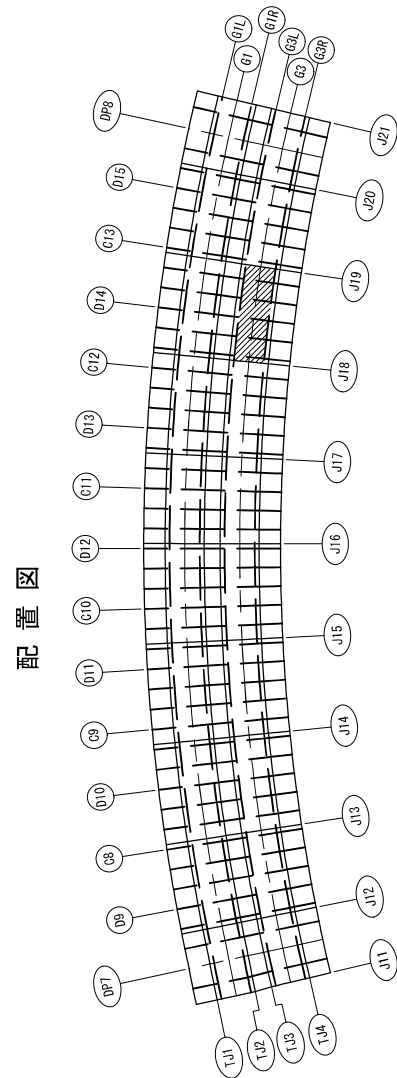


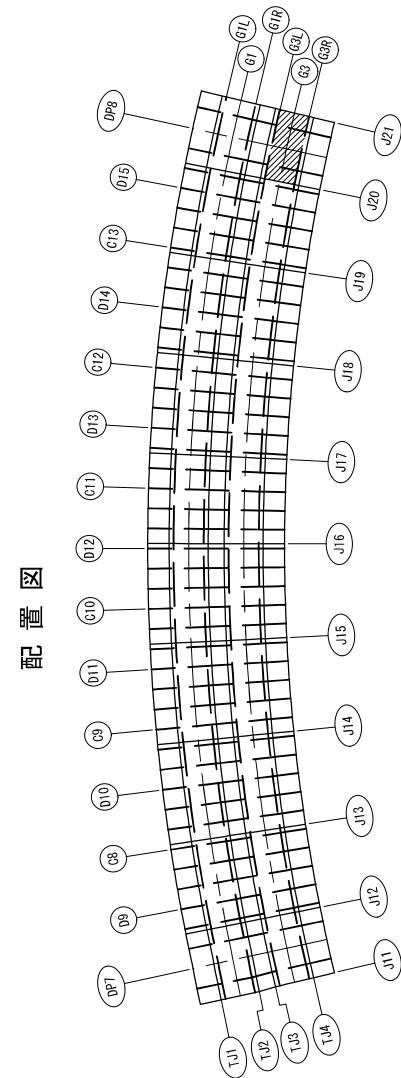
工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	144 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G3（その19）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	146 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G3(その21)		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

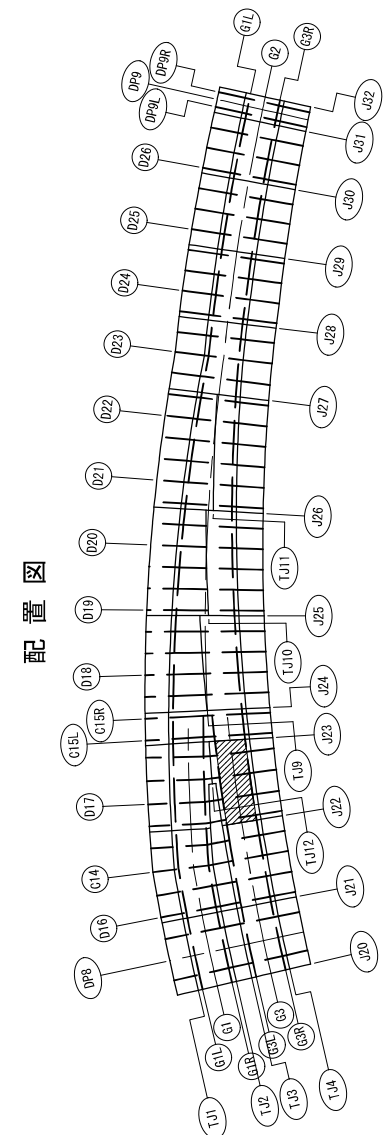
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上物工事（2工区）			
図面番号	148 / 339	縮尺	図示	
図面名	Dラン第2橋 主桁図G3（その23）		番号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

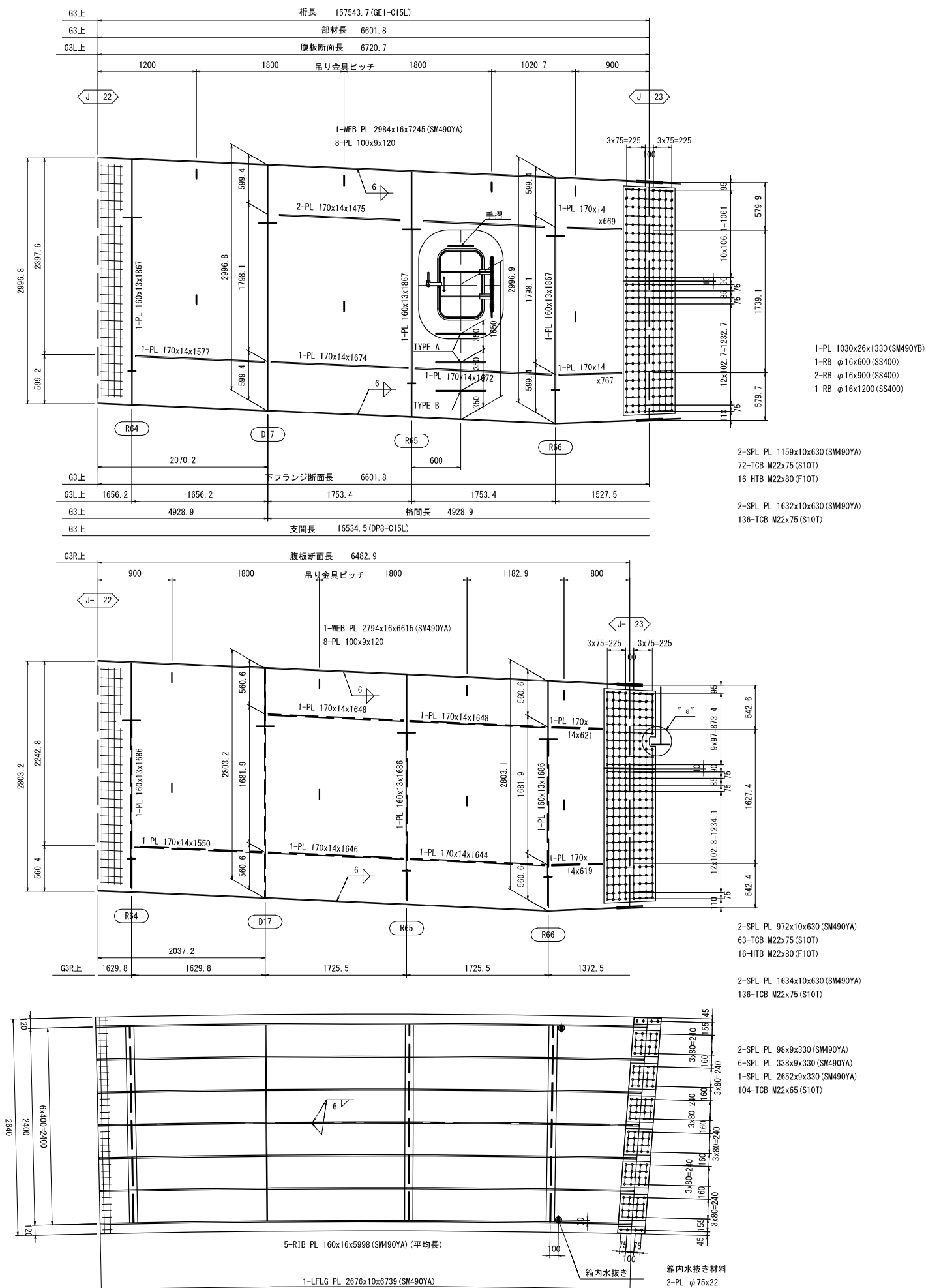
注記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカラーアップは、全て R-35 とする。
3. 中印は、高力ボルト TGB M22 を示す。
 裏印は、高力ボルト TGB M24 を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 縦りね継手の孔径は $\phi 26.5$ とする。
6. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
 完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
 部分溶込み溶接の開先深さを示す。
7. ※部印は、C15溶接後理戻しとする。



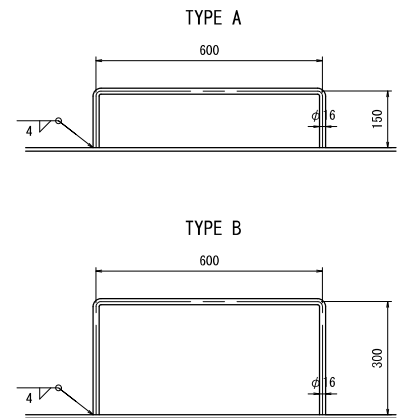
Dランプ第2橋 主桁図G3(その23)

S=1 : 30



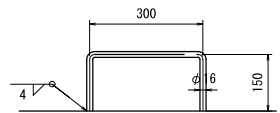
ステップ詳細

S=1:10

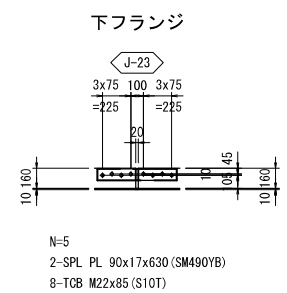


手摺詳細

S=1:10

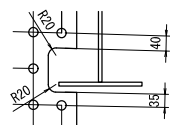


縦リブ添接詳細



" a" 部詳細

S=1:10

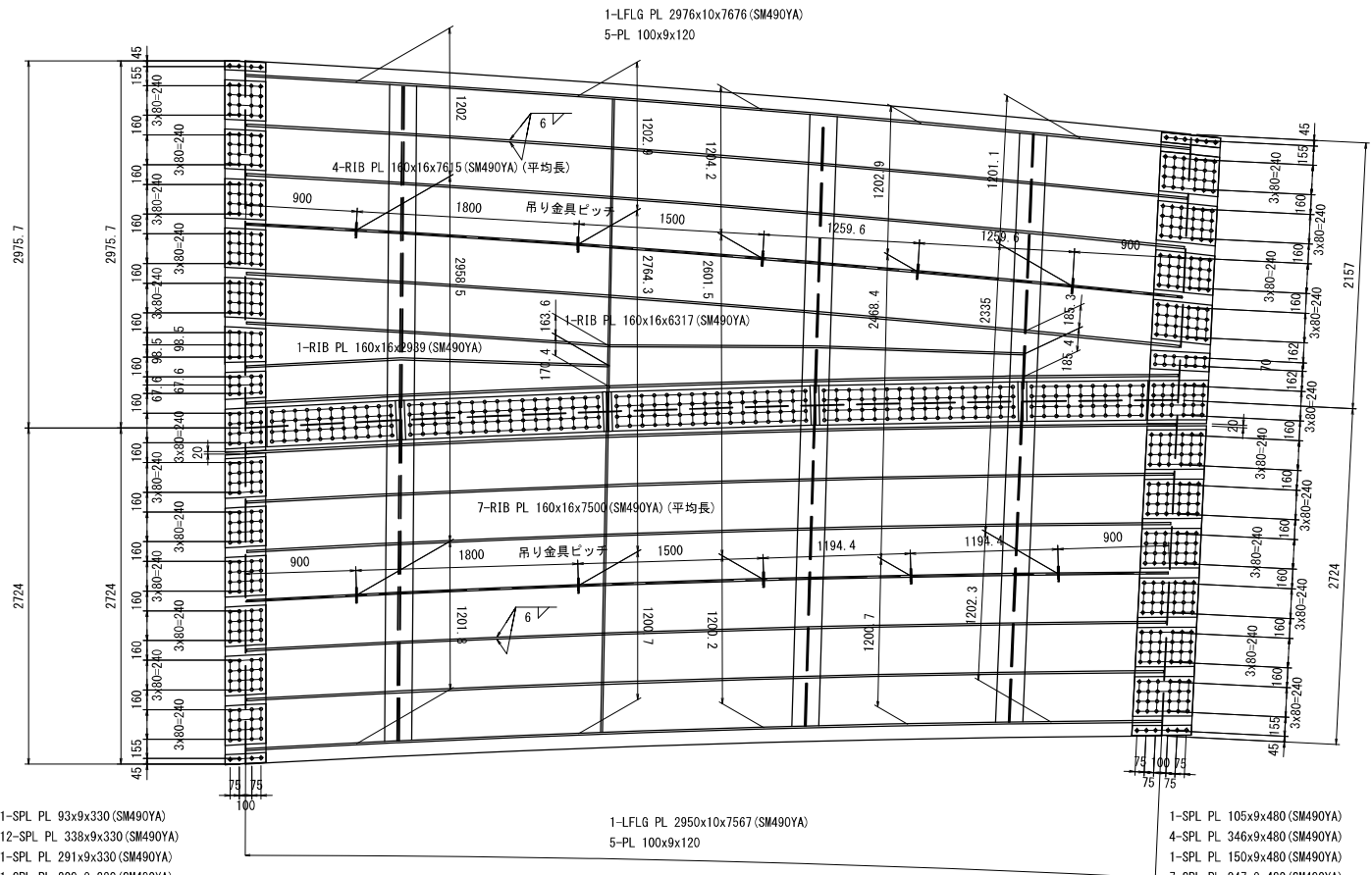
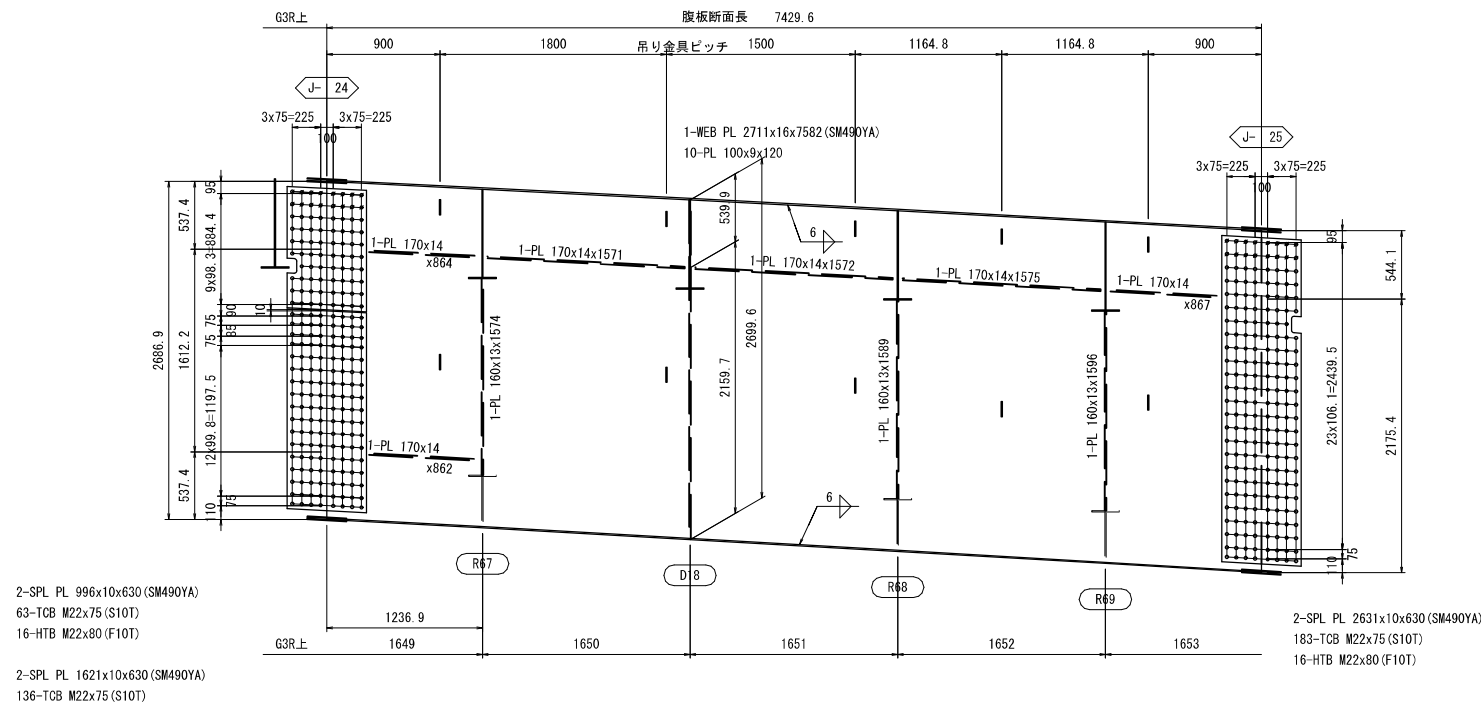
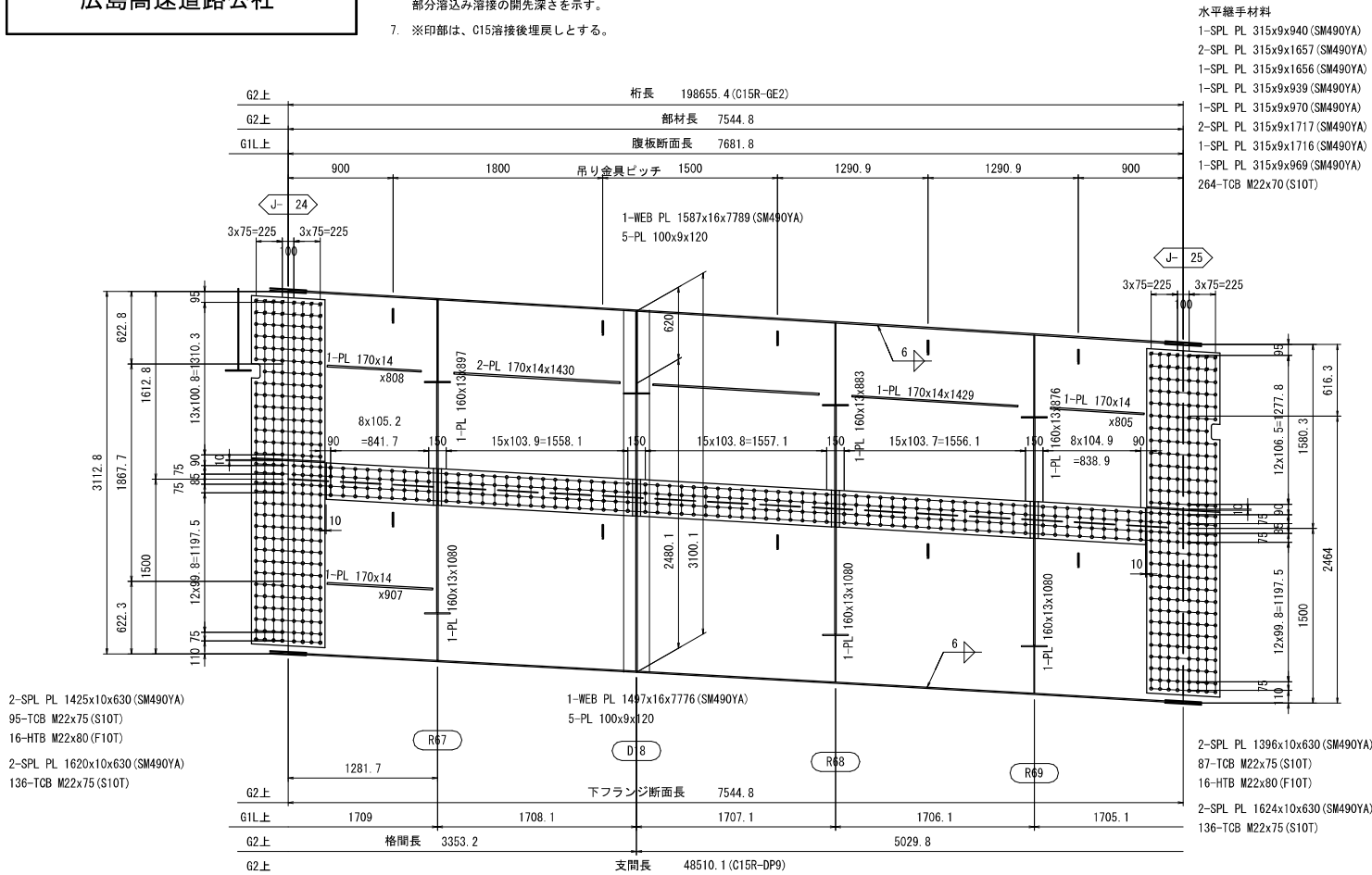


工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	149 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2(その1)		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

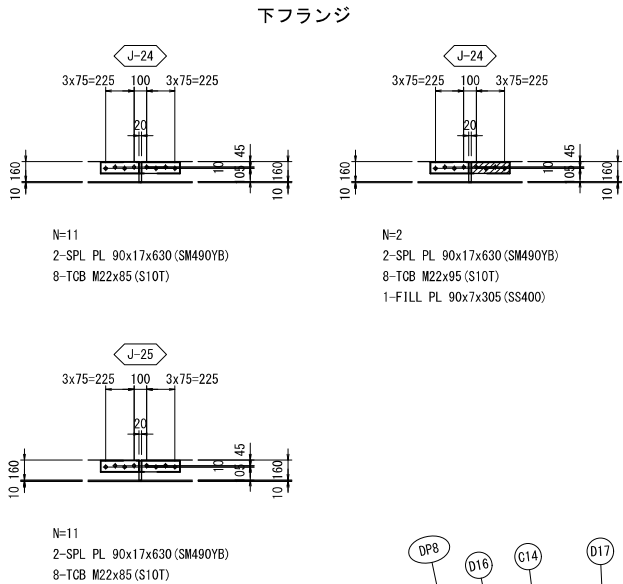
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

Dランプ第2橋 主桁図G2(その1)

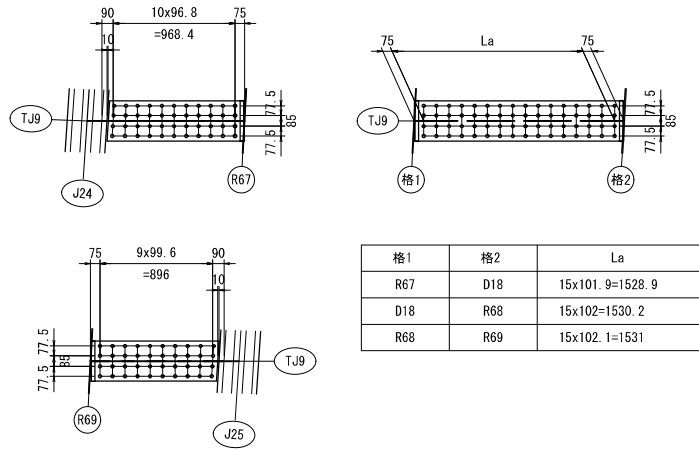
S=1:30



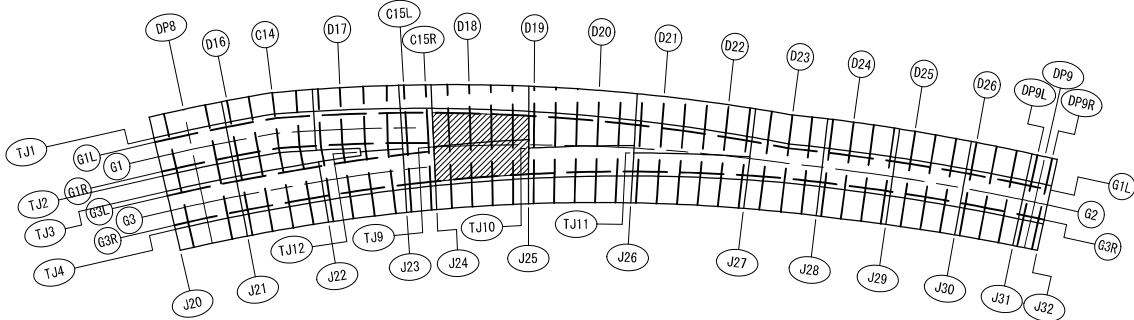
縦リブ添接詳細



縦継手寸法



配置図



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	150 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2(その2)		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ✧印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

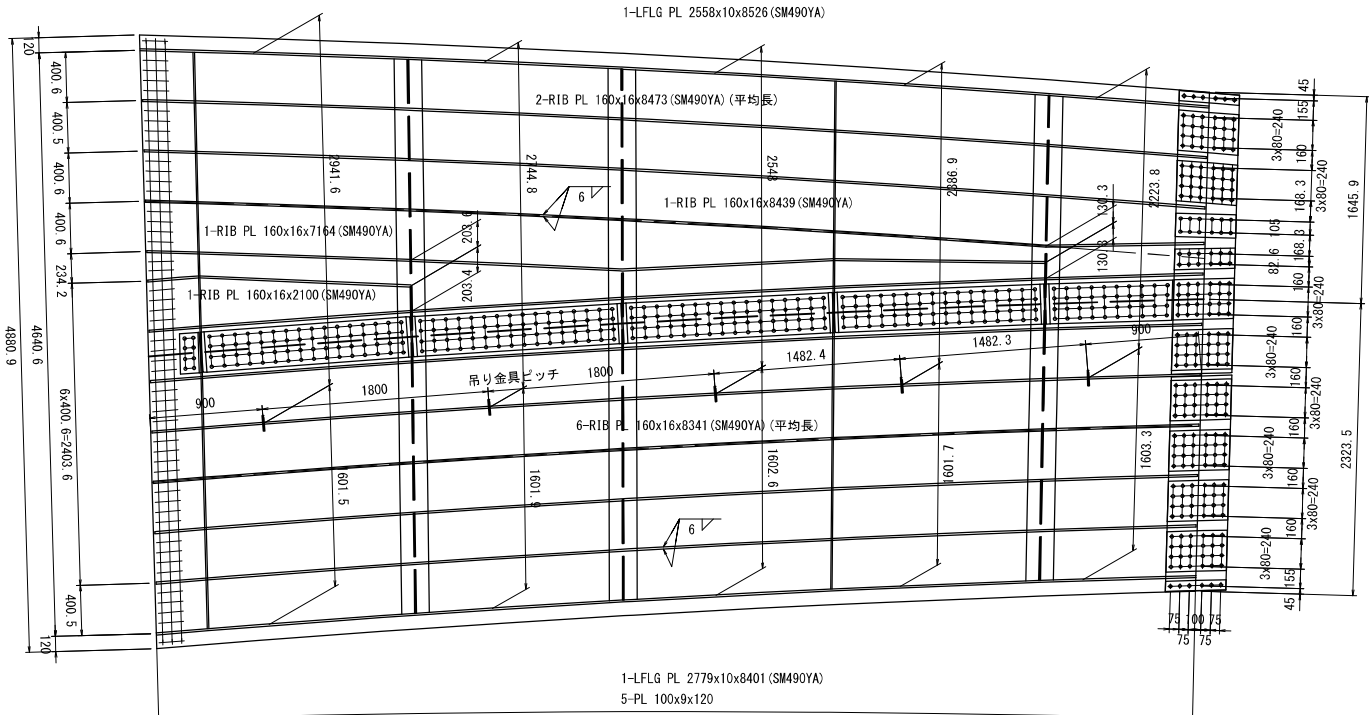
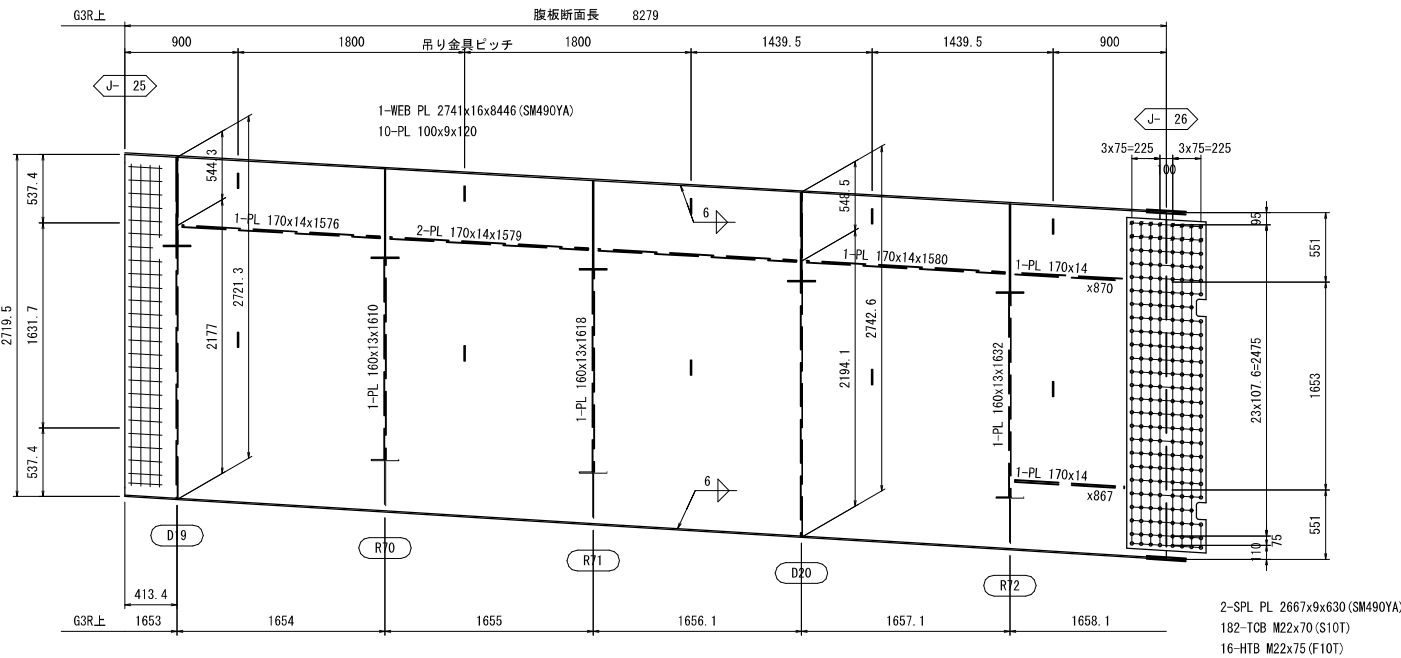
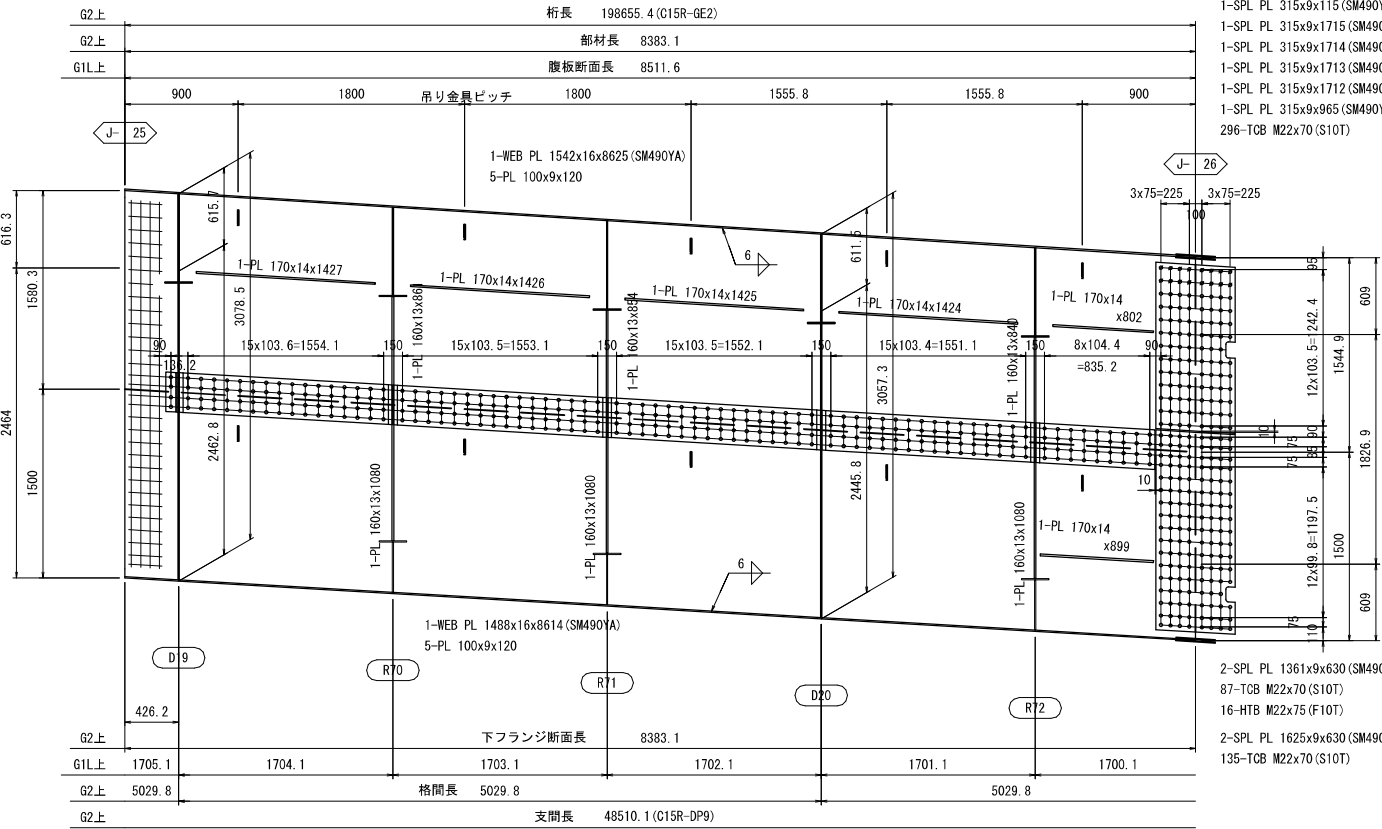
Dランプ第2橋 主桁図G2(その2)

S=1:30

水平継手材料

- 1-SPL PL 315x9x99 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1655 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1654 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1653 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1652 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x935 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x115 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1715 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1714 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1713 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x1712 (SM490YA)
- 1-SPL PL 315x9x965 (SM490YA)
- 296-TCB M22x70 (S10T)

- 2-SPL PL 1361x9x630 (SM490YA)
- 87-TCB M22x70 (S10T)
- 16-HTB M22x75 (F10T)
- 2-SPL PL 1625x9x630 (SM490YA)
- 135-TCB M22x70 (S10T)



TJ10材料

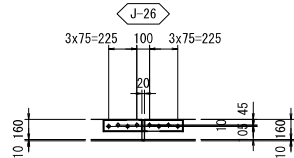
- 1-SPL PL 320x9x161 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1609 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1610 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1611 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1612 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x986 (SM490YA)

- 1-SPL PL 320x9x174 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1669 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1670 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1671 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1672 (SM490YA)
- 1-SPL PL 320x9x1016 (SM490YA)
- 304-TCB M22x65 (S10T)

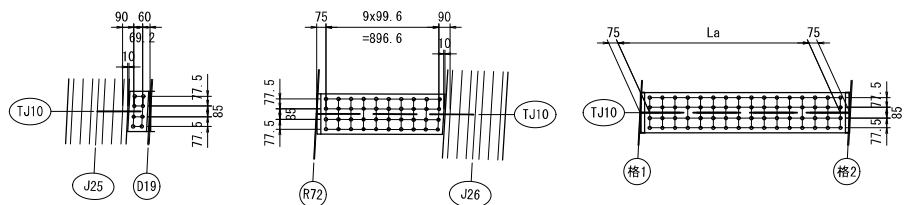
- 1-SPL PL 106x9x480 (SM490YA)
- 2-SPL PL 346x9x480 (SM490YA)
- 1-SPL PL 185x9x480 (SM490YA)
- 1-SPL PL 187x9x480 (SM490YA)
- 6-SPL PL 347x9x480 (SM490YA)
- 1-SPL PL 107x9x480 (SM490YA)
- 1-SPL PL 2258x9x480 (SM490YA)
- 1-SPL PL 1734x9x480 (SM490YA)
- 228-TCB M22x65 (S10T)

縦リブ添接詳細

下フランジ

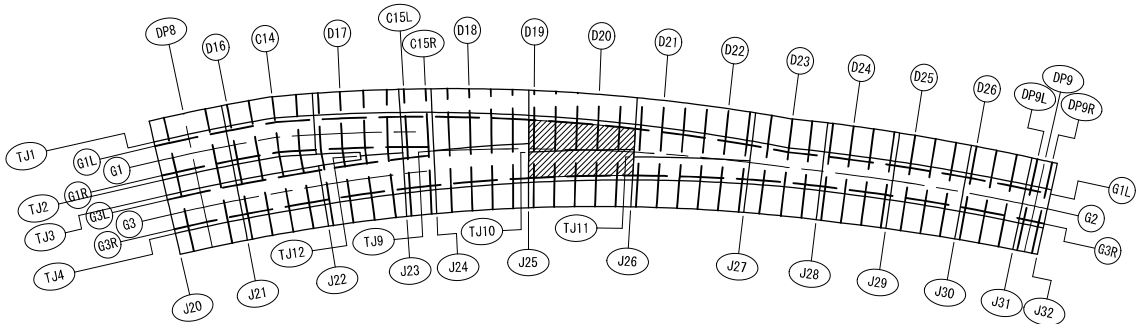


- N=9
- 2-SPL PL 90x17x630 (SM490YB)
- 8-TCB M22x85 (S10T)



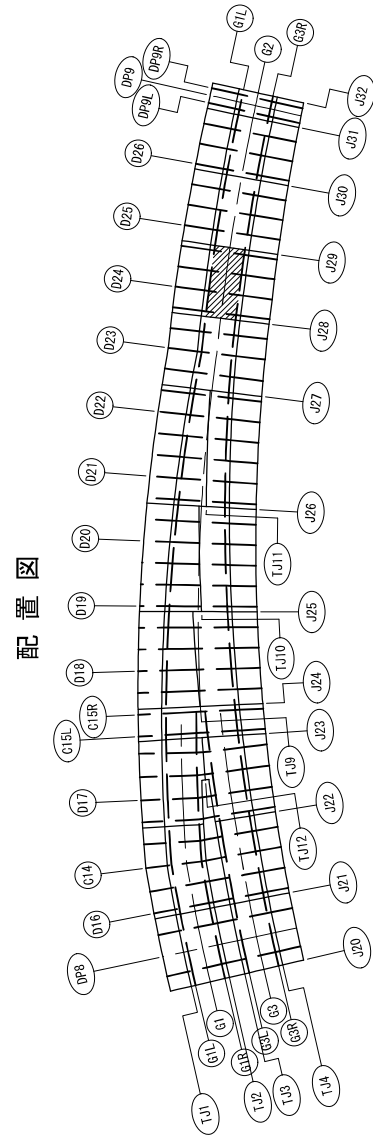
格1	格2	La
D19	R70	15x101.9=1528.5
R70	R71	15x102=1529.5
R71	D20	15x102=1530.5
D20	R72	15x102.1=1531.6

配置図



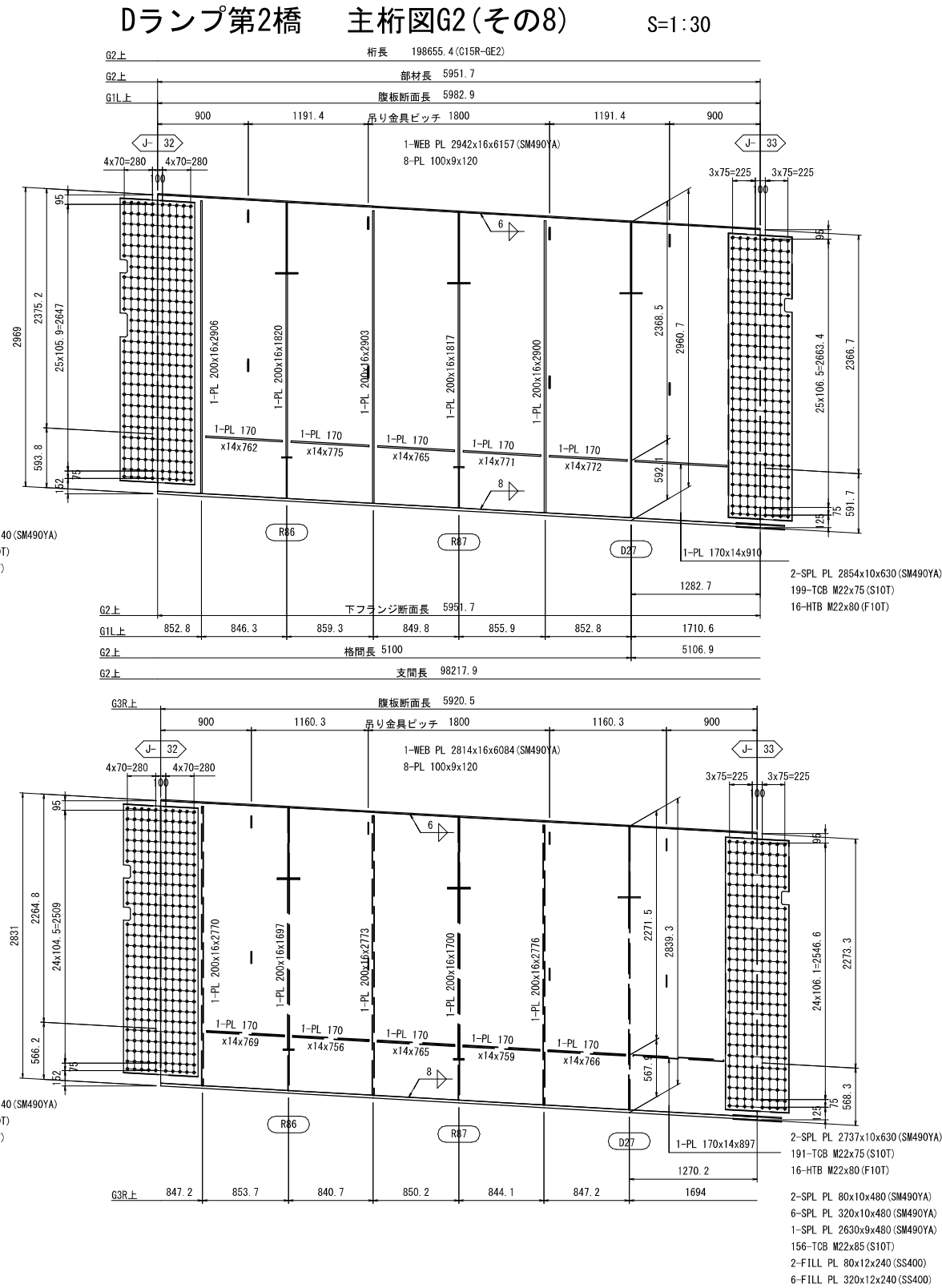
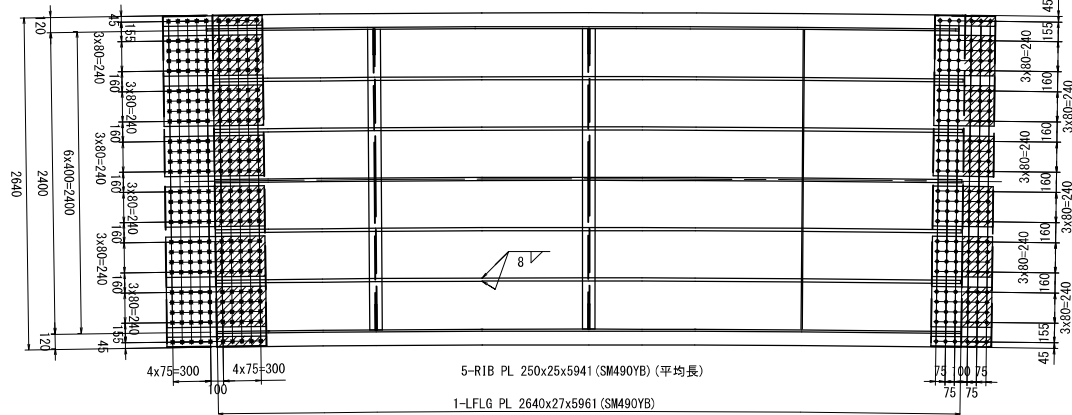
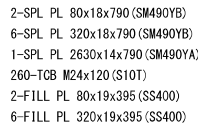
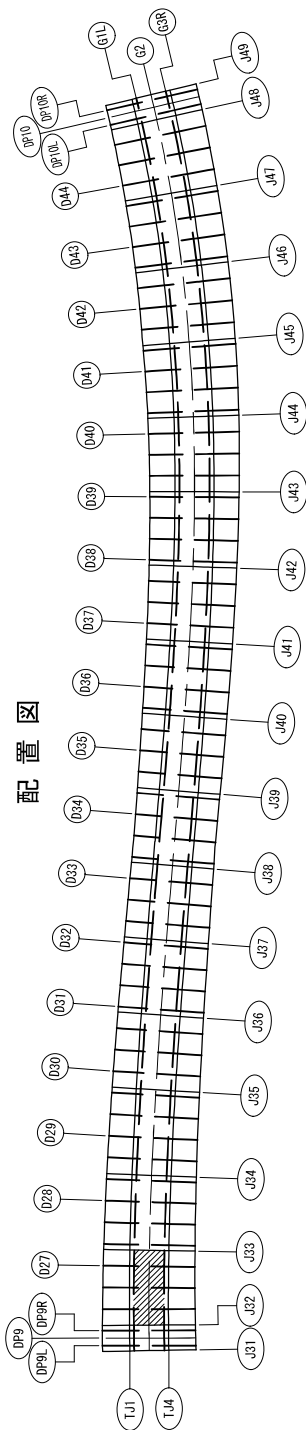
工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	153 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その5）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーアップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

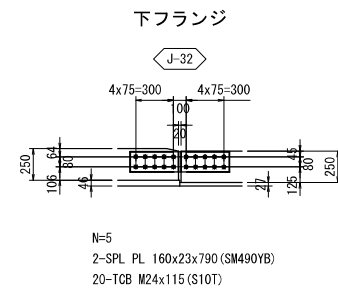


注 記

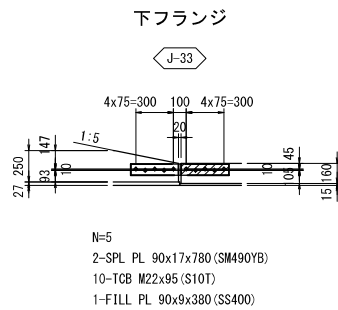
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R-35 とする。
3. ※印は、高力ボルト TC8 M22 を示す。
※印は、高力ボルト TC8 M24 を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 縦リブ鬆手の孔径はφ26.5 とする。
6. 溶接記号に「F. P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の隅先深さを示す。
7. ※印部は、C15溶接後換装とする。



縦リブ添接詳細

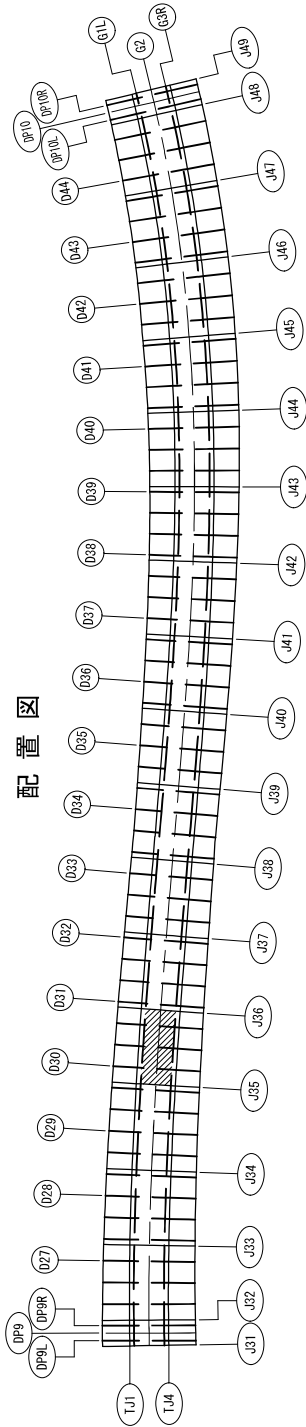


縦リブ添接詳細



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	159 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その11）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

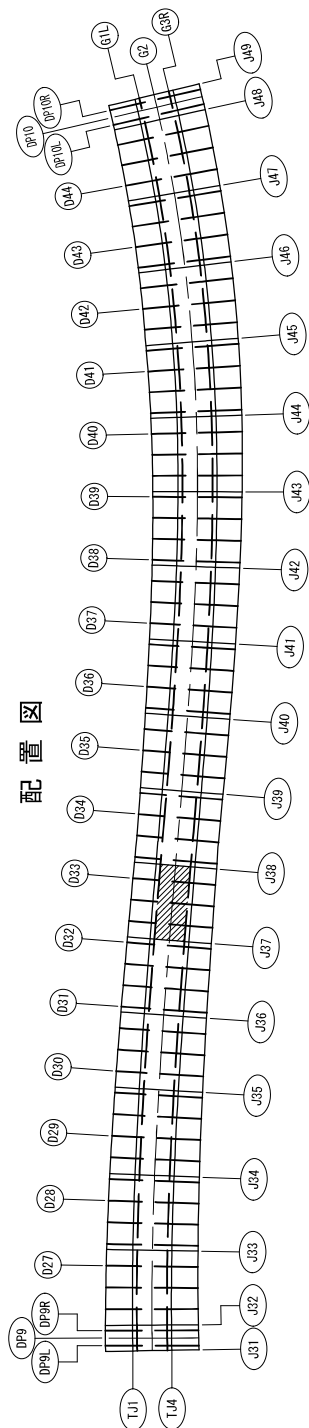
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーアップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）		
図面番号	161 / 339	縮尺	図示
図面名	Dラン第2橋 主桁図G2（その13）		番号
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

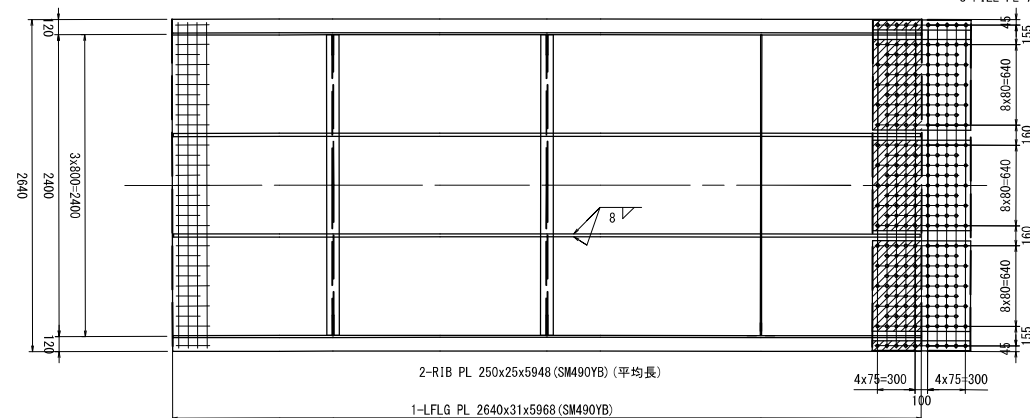
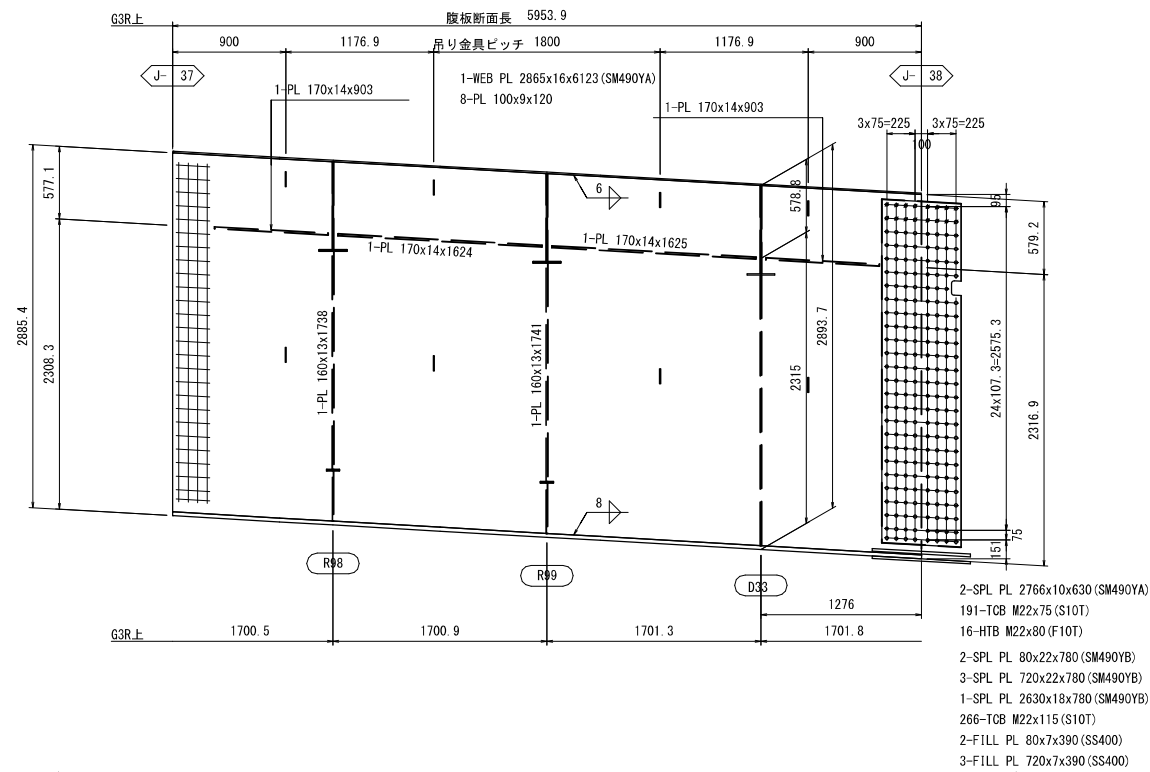
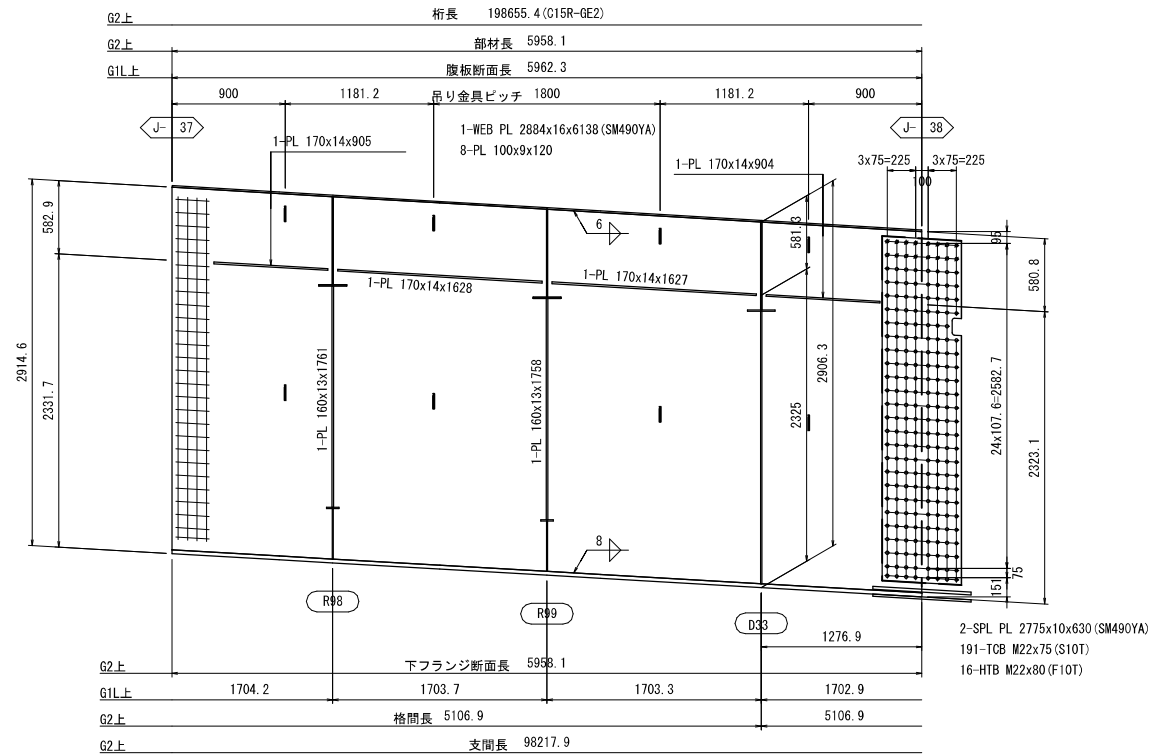
注記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカラーシップは、全て R-35 とする。
3. 中印は、高力ボルト TGB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TGB M24 を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 縦リブ継手の孔径は $\phi 26.5$ とする。
6. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印の数字は、
部分溶込み溶接の開深さを示す。
7. ※印部は、G15溶接後埋戻しとする。



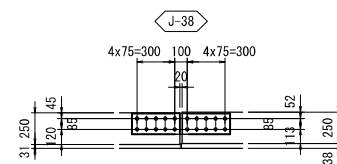
Dランプ第2橋 主桁図G2(その13)

S=1 : 30



縦リブ添接詳細

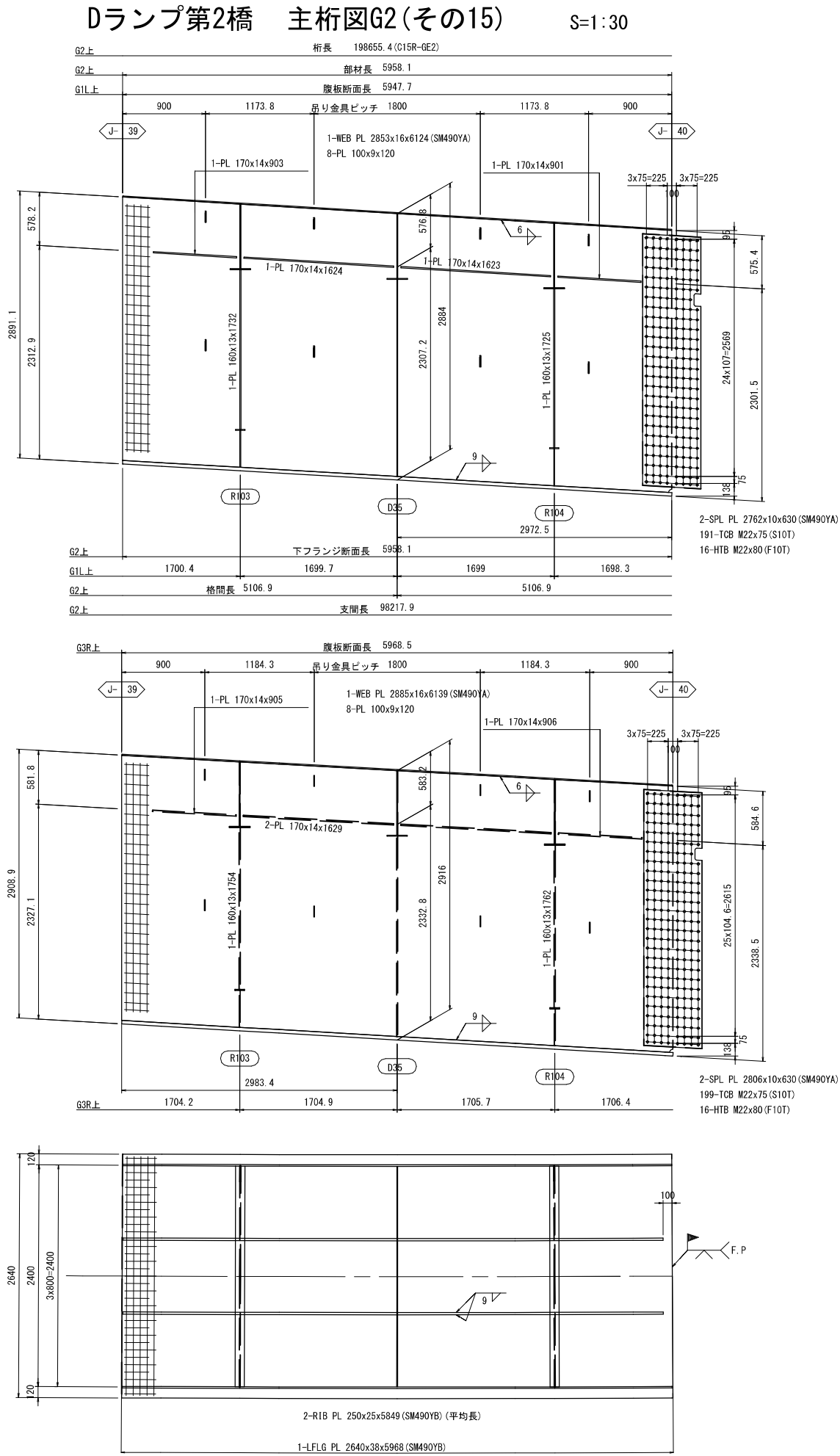
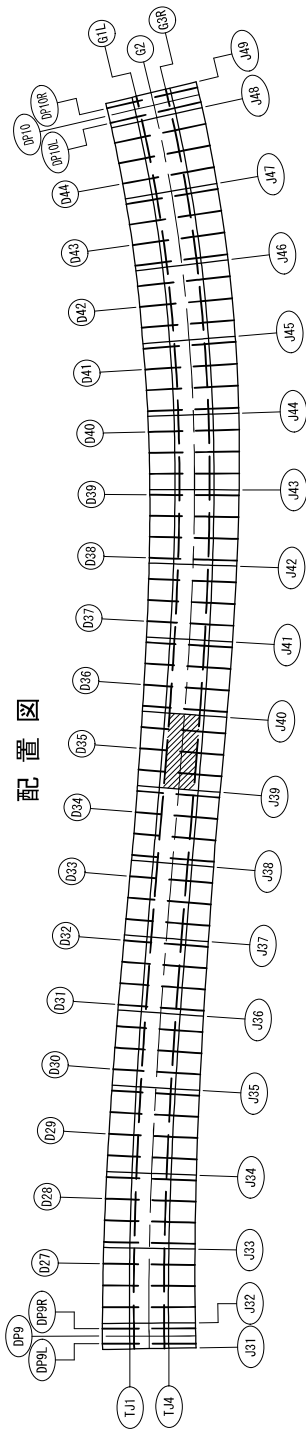
下フランジ



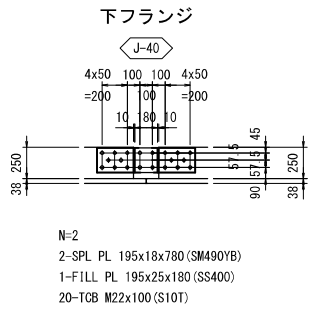
N=2
2-SPL PL 165x23x780 (SM490YB)
20-TCB M22x110 (S10T)

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	163 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その15）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



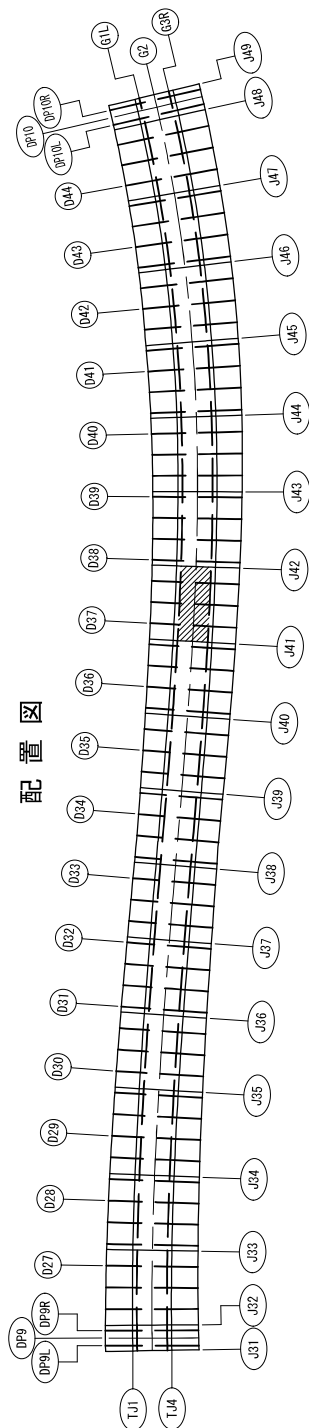
縦リブ添接詳細



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）		
図面番号	165 / 339	縮 尺	図 示
図 面 名	Dラン第2橋 主桁図62（その17）		番 号
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

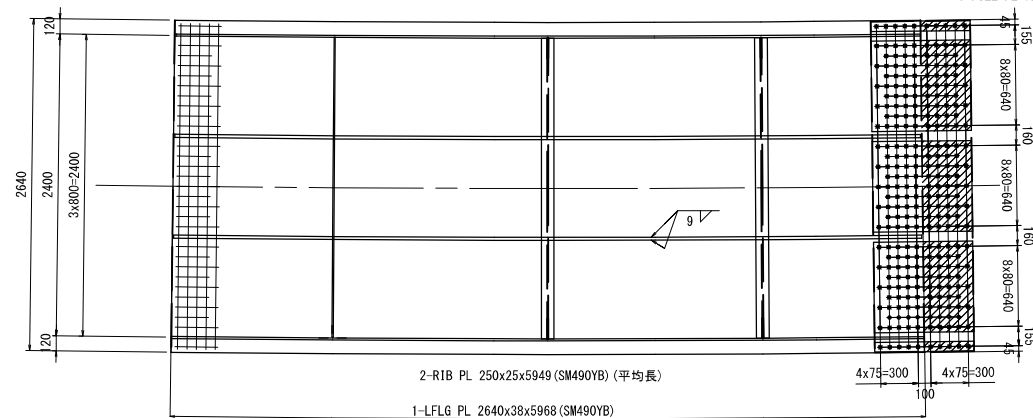
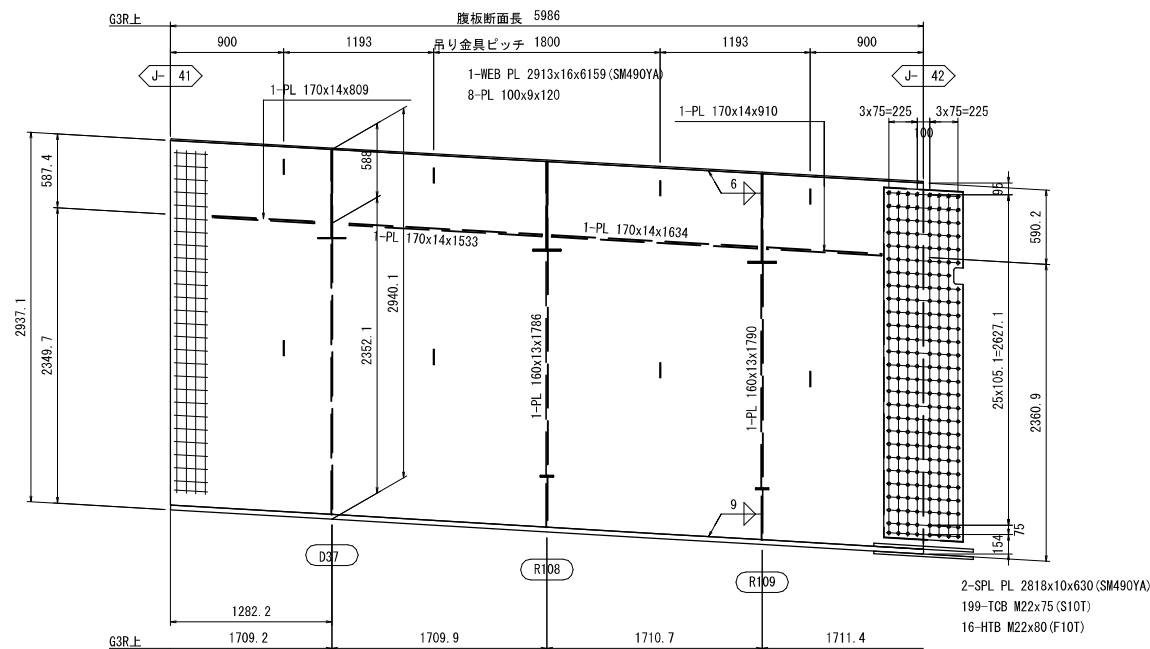
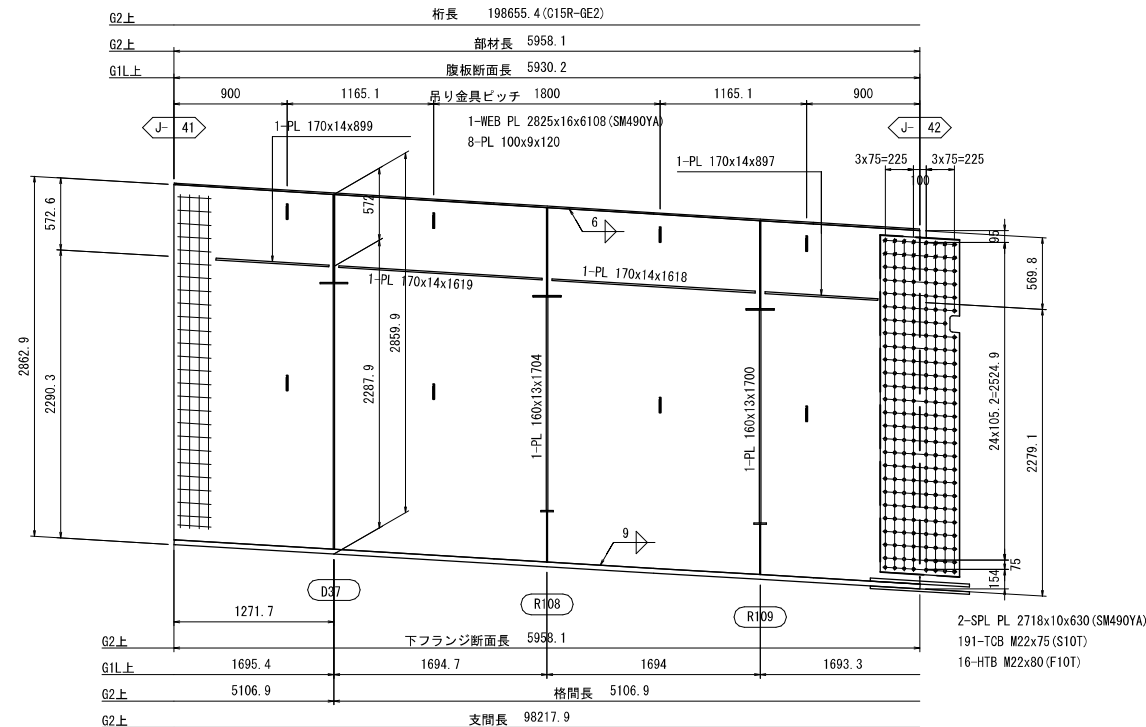
注記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカラーアップは、全て R-35 とする。
3. 中印は、高力ボルト TGB M22 を示す。
 裏印は、高力ボルト TGB M24 を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 縦り手継手の孔径は $\phi 26.5$ とする。
6. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
 完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
 部分溶込み溶接の開先深さを示す。
7. ※部印は、C15溶接後理戻しとする。



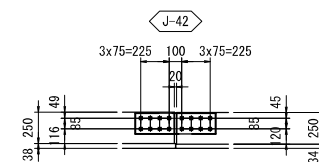
Dランプ第2橋 主桁図G2(その17)

S=1 : 30



縦リブ添接詳細

下フランジ

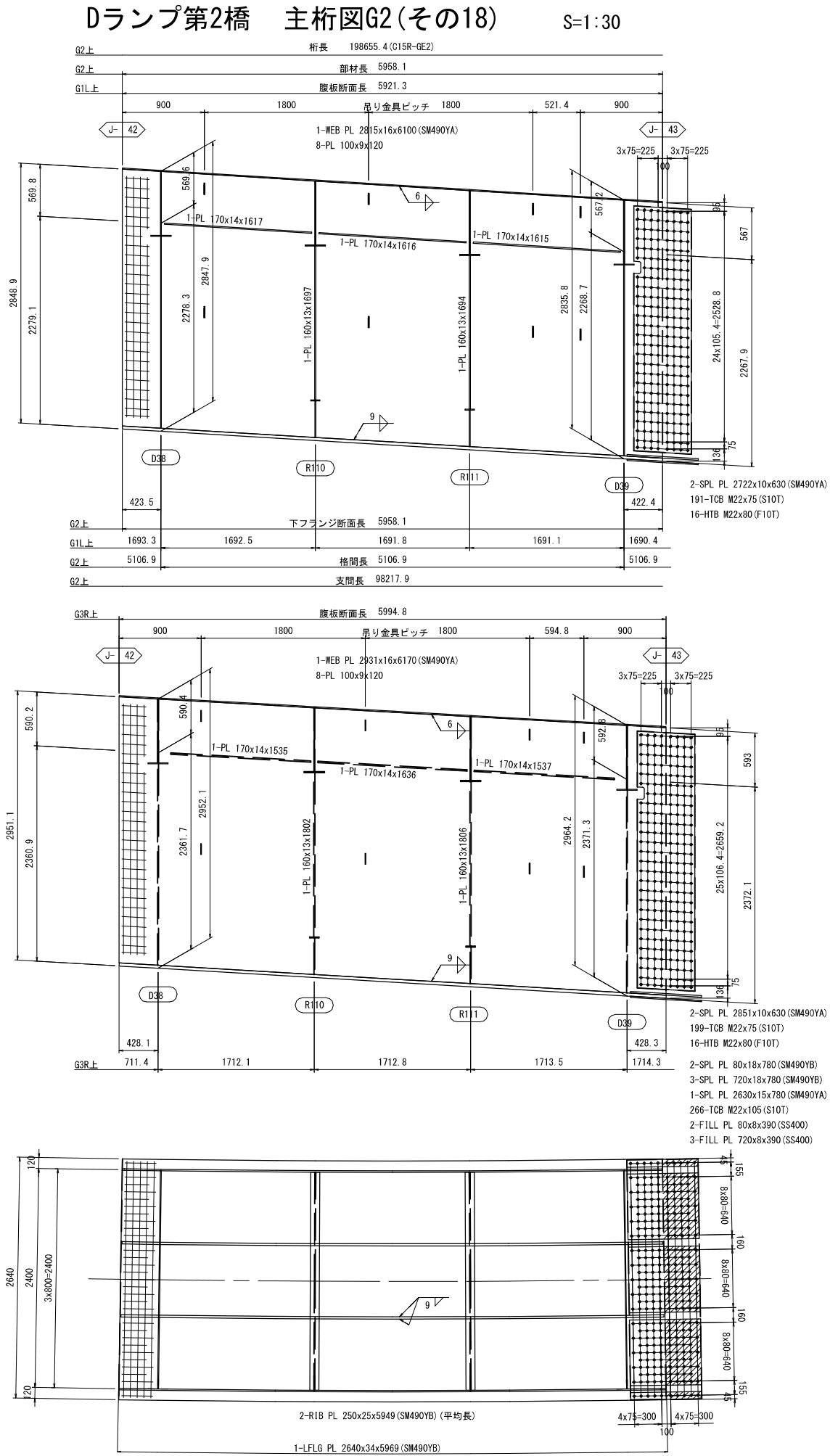
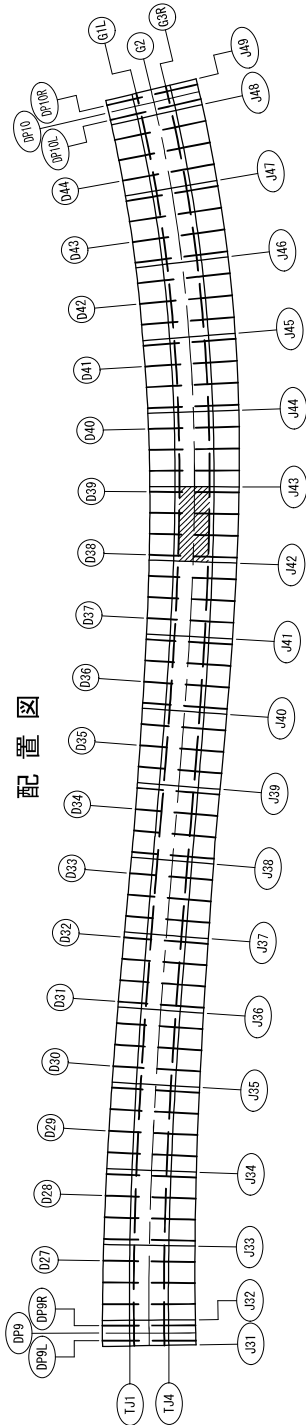


N=2
2-SPL PL 165x23x640 (SM490YB)
16-TCB M24x115 (S10T)

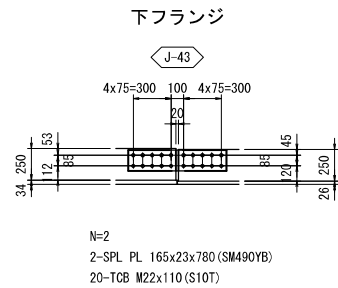
2-SPL PL 80x24x790 (SM490YB)
3-SPL PL 720x24x790 (SM490YB)
1-SPL PL 2630x20x790 (SM490YB)
266-TCB M24x125 (S10T)
2-FILL PL 80x4. 5x395 (SS400)
3-FILL PL 720x4. 5x395 (SS400)

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	166 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その18）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーアップは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

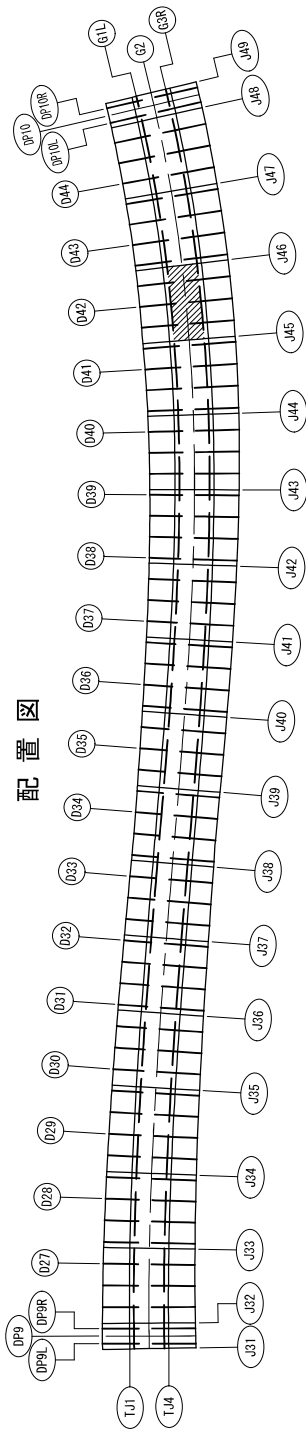


縦リブ添接詳細



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	169 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その21）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

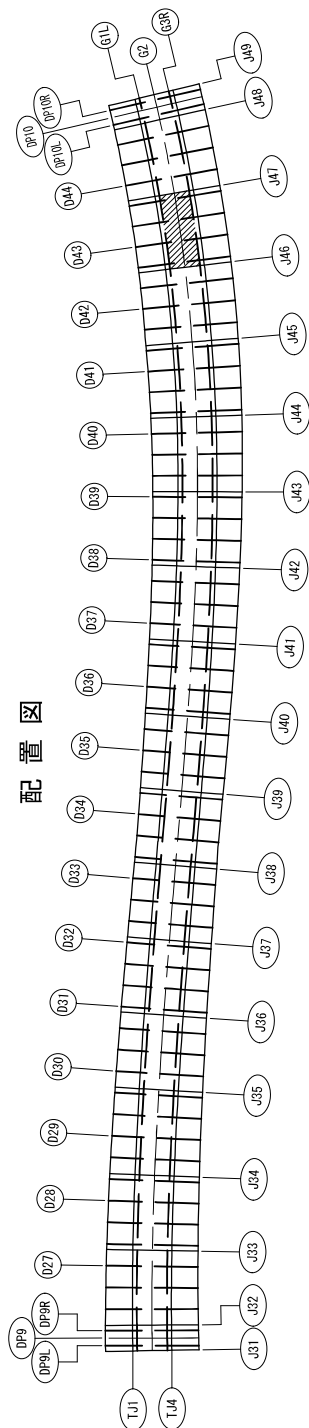
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	170 / 339	縮尺	図示	
図面名	Dラン第2橋 主桁図G2（その22）		番号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

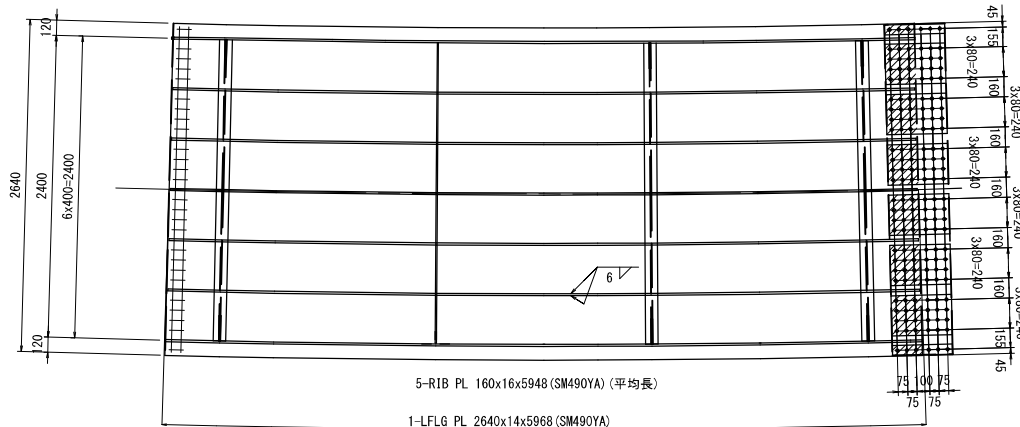
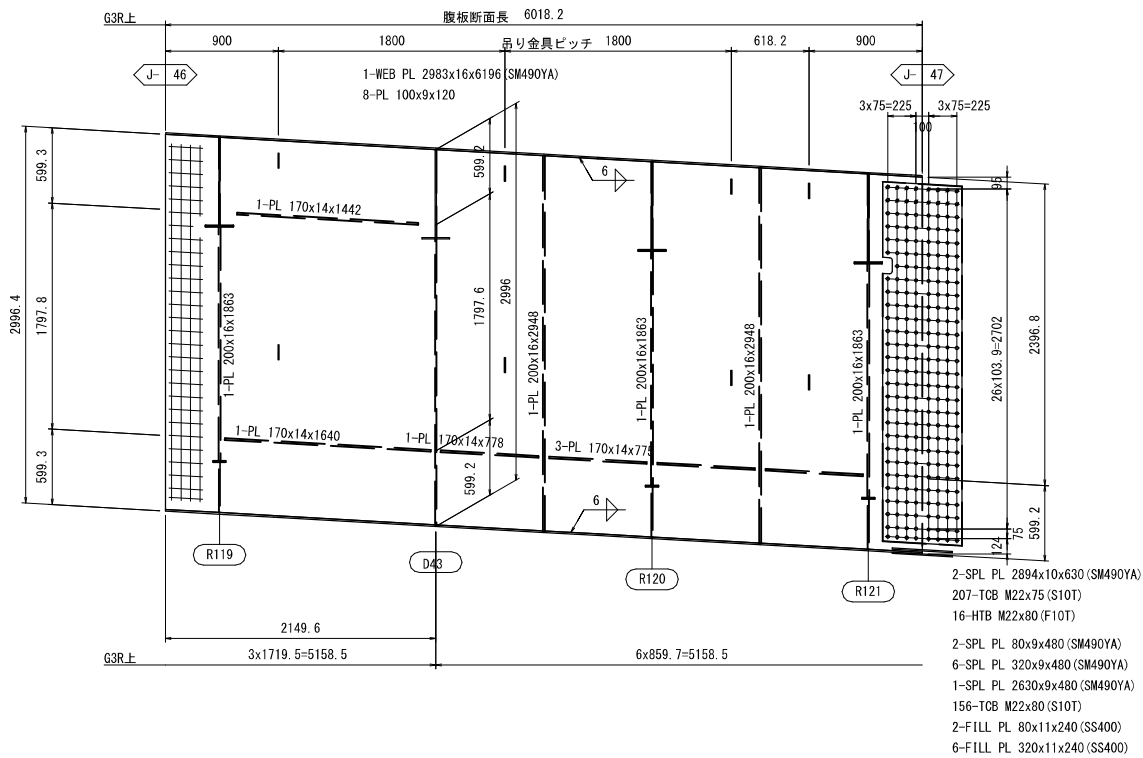
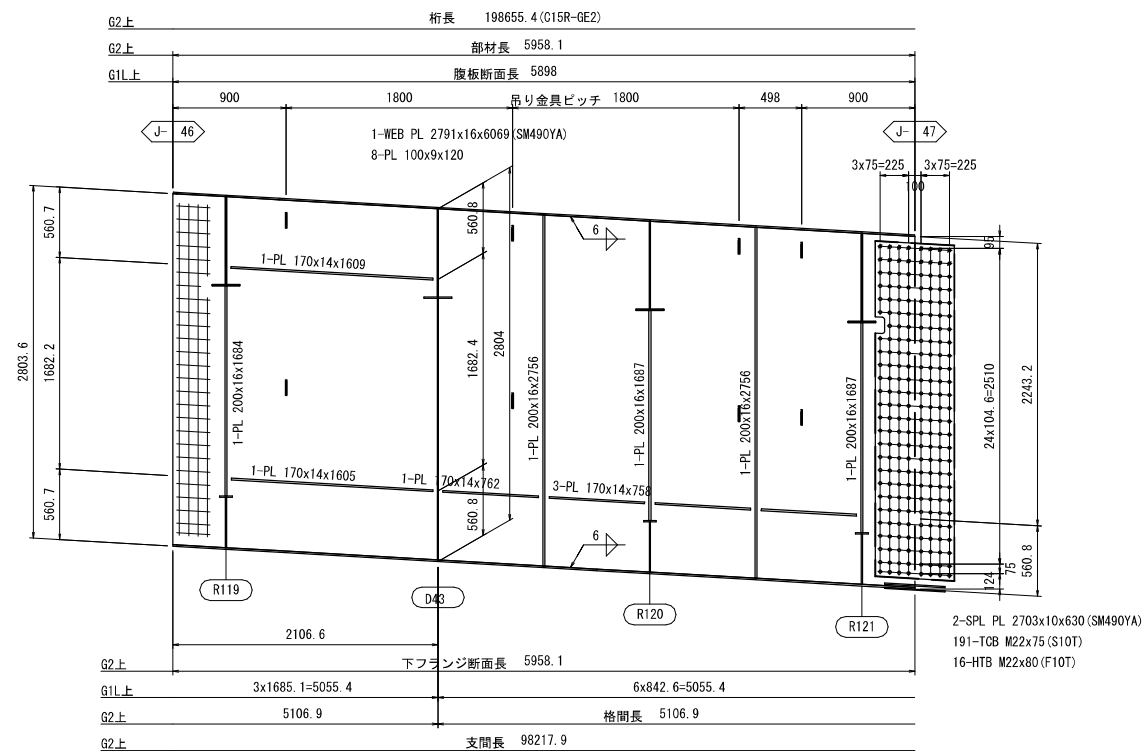
注記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカラーアップは、全て R-35 とする。
3. 中印は、高力ボルト TGB M22 を示す。
 裏印は、高力ボルト TGB M24 を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 縦りね継手の孔径は $\phi 26.5$ とする。
6. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
 完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
 部分溶込み溶接の開先深さを示す。
7. ※部印は、C15溶接後理戻しとする。



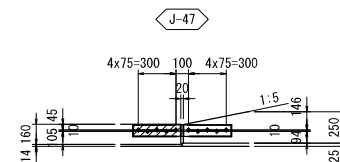
Dランプ第2橋 主桁図G2(その22)

S=1 : 30



縦リブ添接詳細

下フランジ

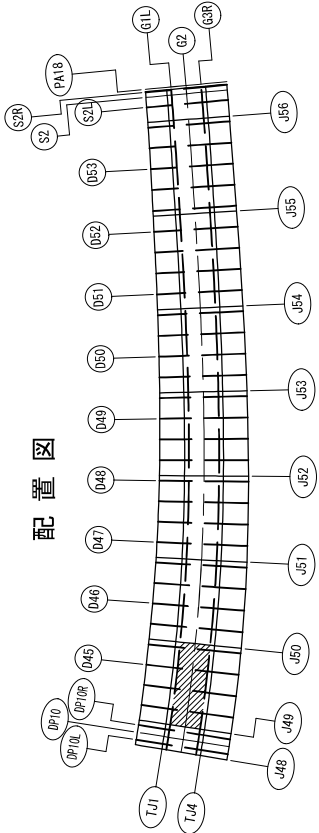


N=5
2-SPL PL 90x17x780 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 90x9x380 (SS400)

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	172 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その24）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

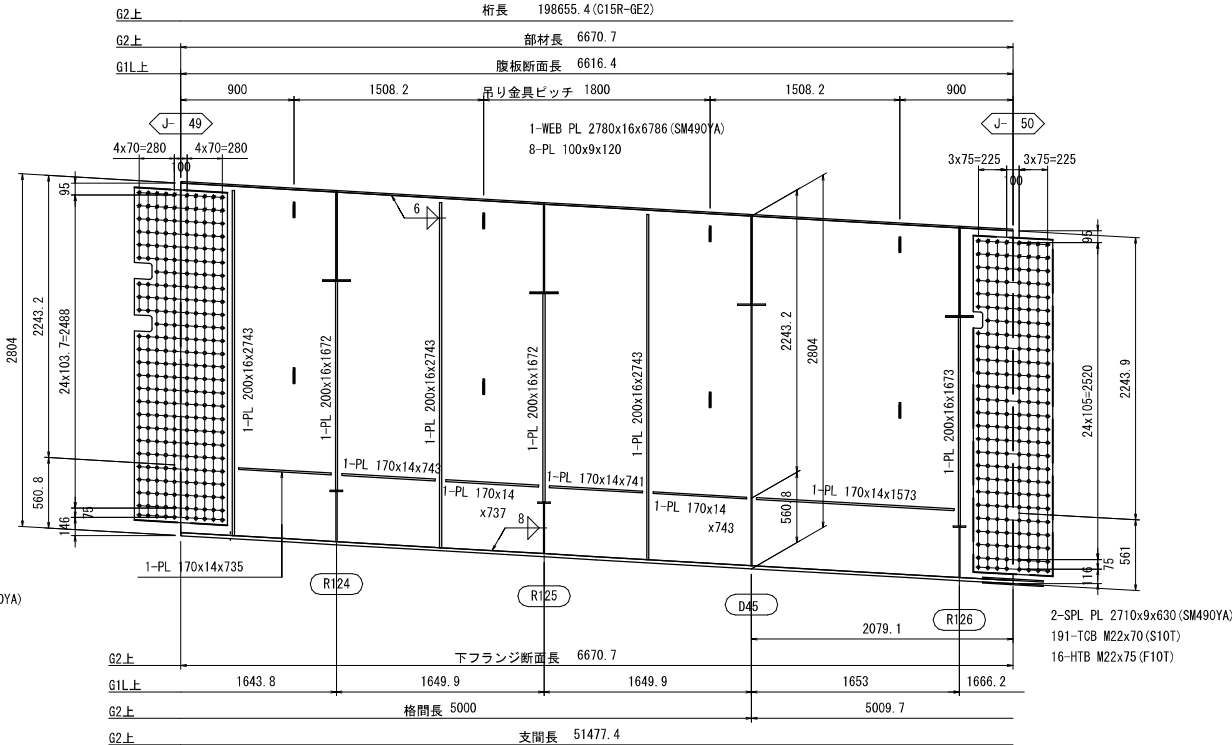
配置図



- 2-SPL PL 80x17x790 (SM490YB)
6-SPL PL 320x17x790 (SM490YB)
1-SPL PL 2630x14x790 (SM490YA)
260-TCB M24x110 (S10T)
2-FILL PL 80x12x395 (SS400)
6-FILL PL 320x12x395 (SS400)

Dランプ第2橋 主桁図G2（その24）

S=1:30

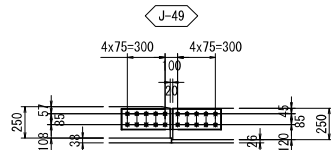


- 2-SPL PL 2687x10x740 (SM490YA)
236-TCB M22x75 (S10T)
20-HTB M22x80 (F10T)

- 2-SPL PL 2710x9x630 (SM490YA)
191-TCB M22x70 (S10T)
16-HTB M22x75 (F10T)

縦リブ添接詳細

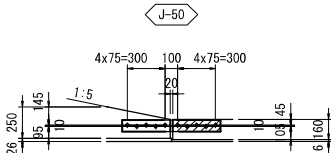
下フランジ



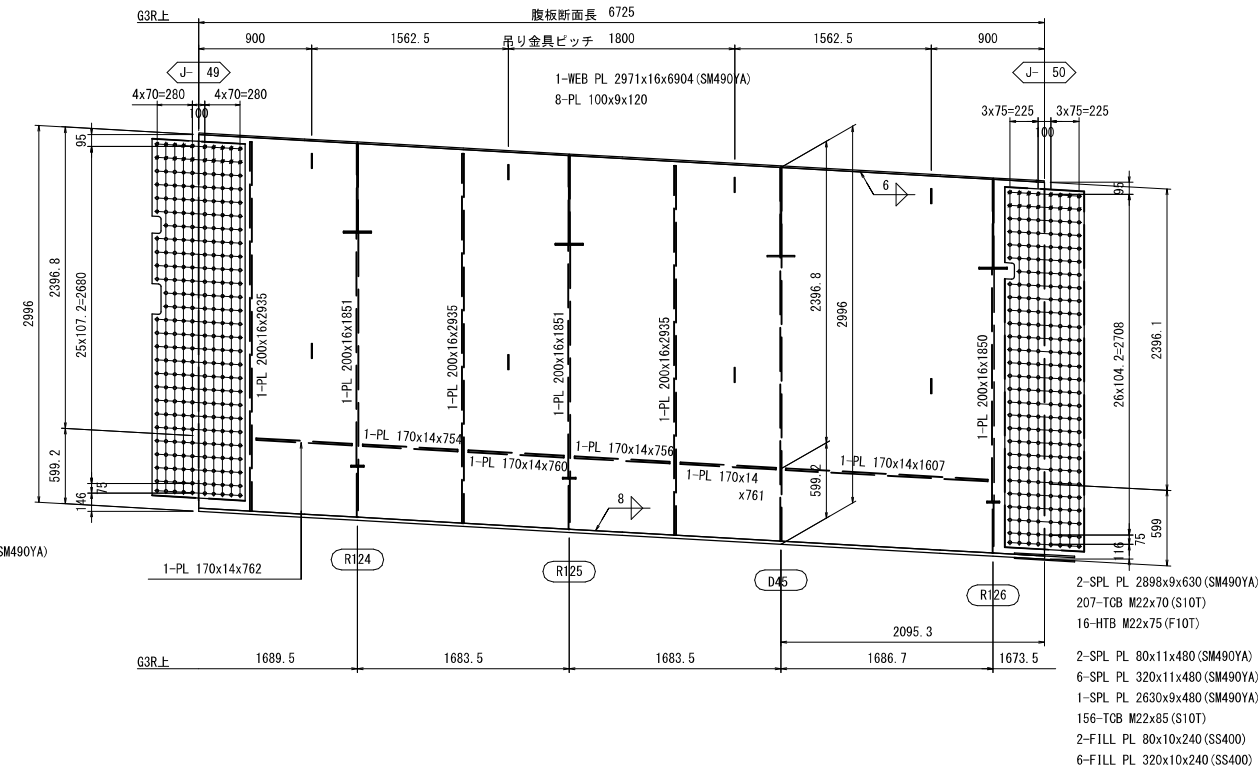
- N=5
2-SPL PL 165x23x790 (SM490YB)
20-TCB M24x115 (S10T)

縦リブ添接詳細

下フランジ



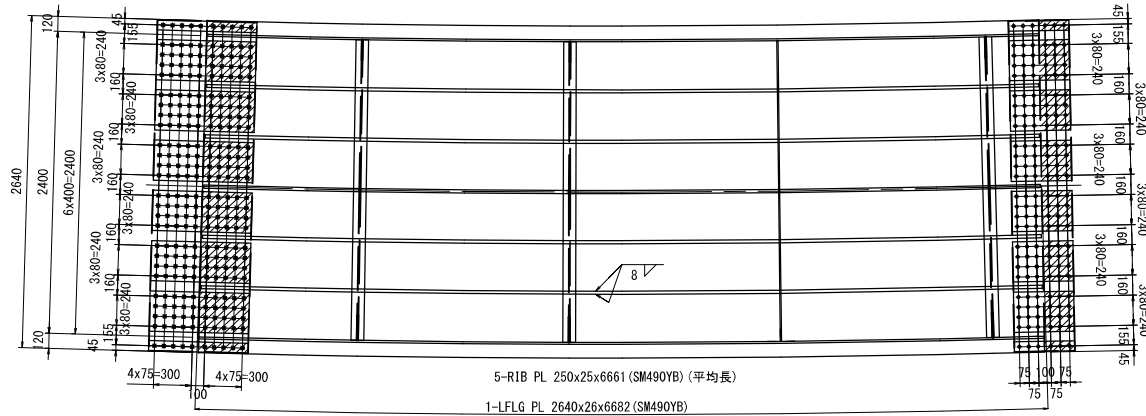
- N=5
2-SPL PL 90x17x780 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 90x9x380 (SS400)



- 2-SPL PL 2878x10x740 (SM490YA)
247-TCB M22x75 (S10T)
20-HTB M22x80 (F10T)

- 2-SPL PL 2898x9x630 (SM490YA)
207-TCB M22x70 (S10T)
16-HTB M22x75 (F10T)

- 2-SPL PL 80x11x480 (SM490YA)
6-SPL PL 320x11x480 (SM490YA)
1-SPL PL 2630x9x480 (SM490YA)
156-TCB M22x85 (S10T)
2-FILL PL 80x10x240 (SS400)
6-FILL PL 320x10x240 (SS400)



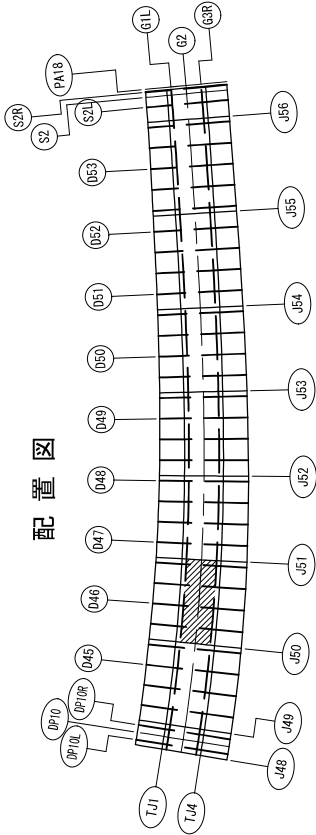
- 2-SPL PL 80x17x790 (SM490YB)
6-SPL PL 320x17x790 (SM490YB)
1-SPL PL 2630x14x790 (SM490YA)
260-TCB M24x110 (S10T)
2-FILL PL 80x12x395 (SS400)
6-FILL PL 320x12x395 (SS400)

工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	173 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その25）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

注 記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
- ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
- 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
- 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
- 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
- ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

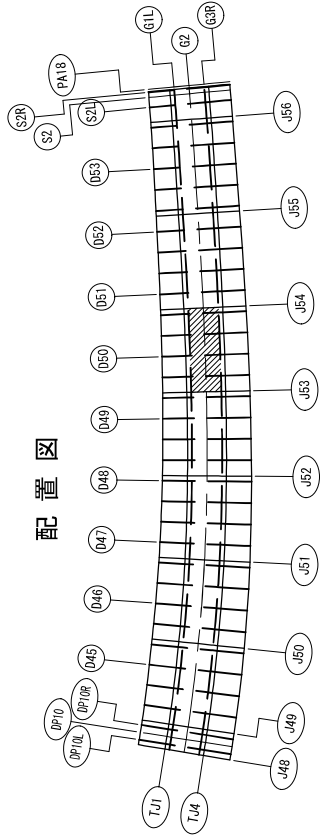
配置図



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	176 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁図G2（その28）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
※印は、高力ボルト TCB M24 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 縦リブ継手の孔径はφ26.5とする。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

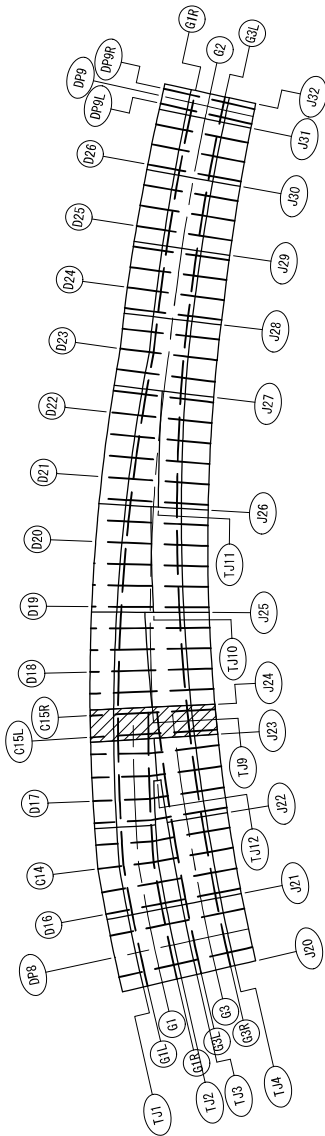
配置図



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	179 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁合流部詳細図（その1）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

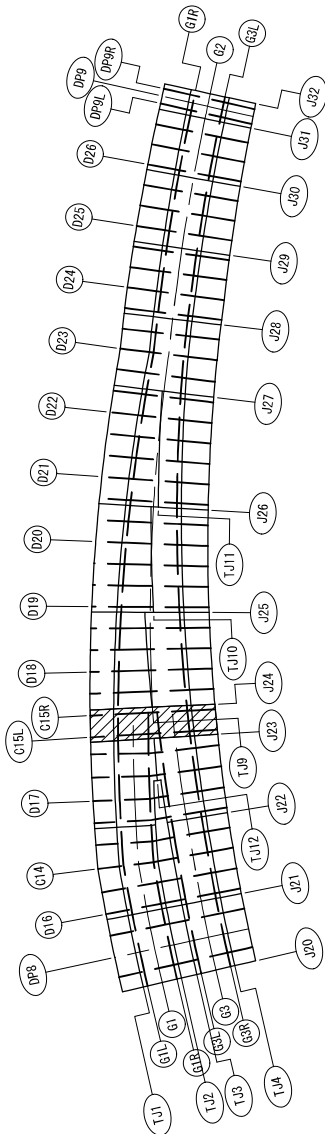
配置図



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	181 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 主桁合流部詳細図（その3）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

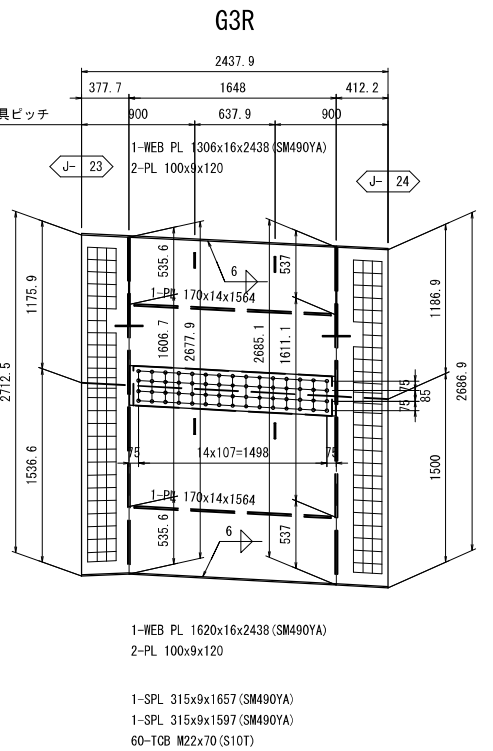
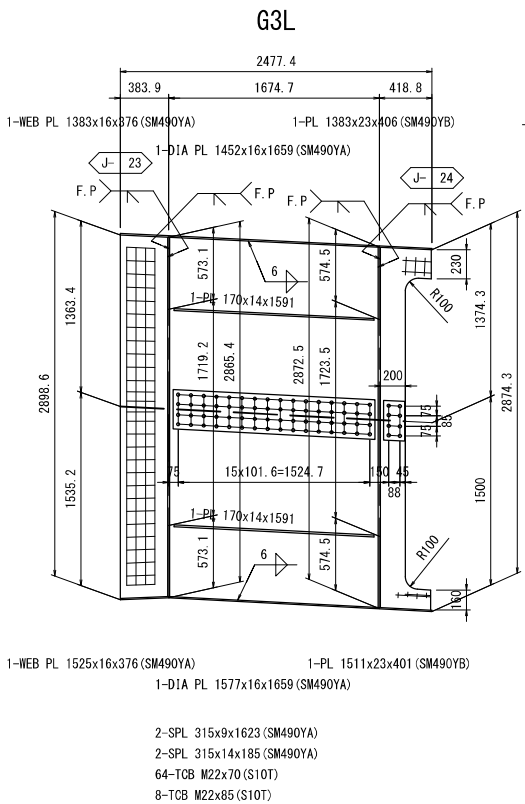
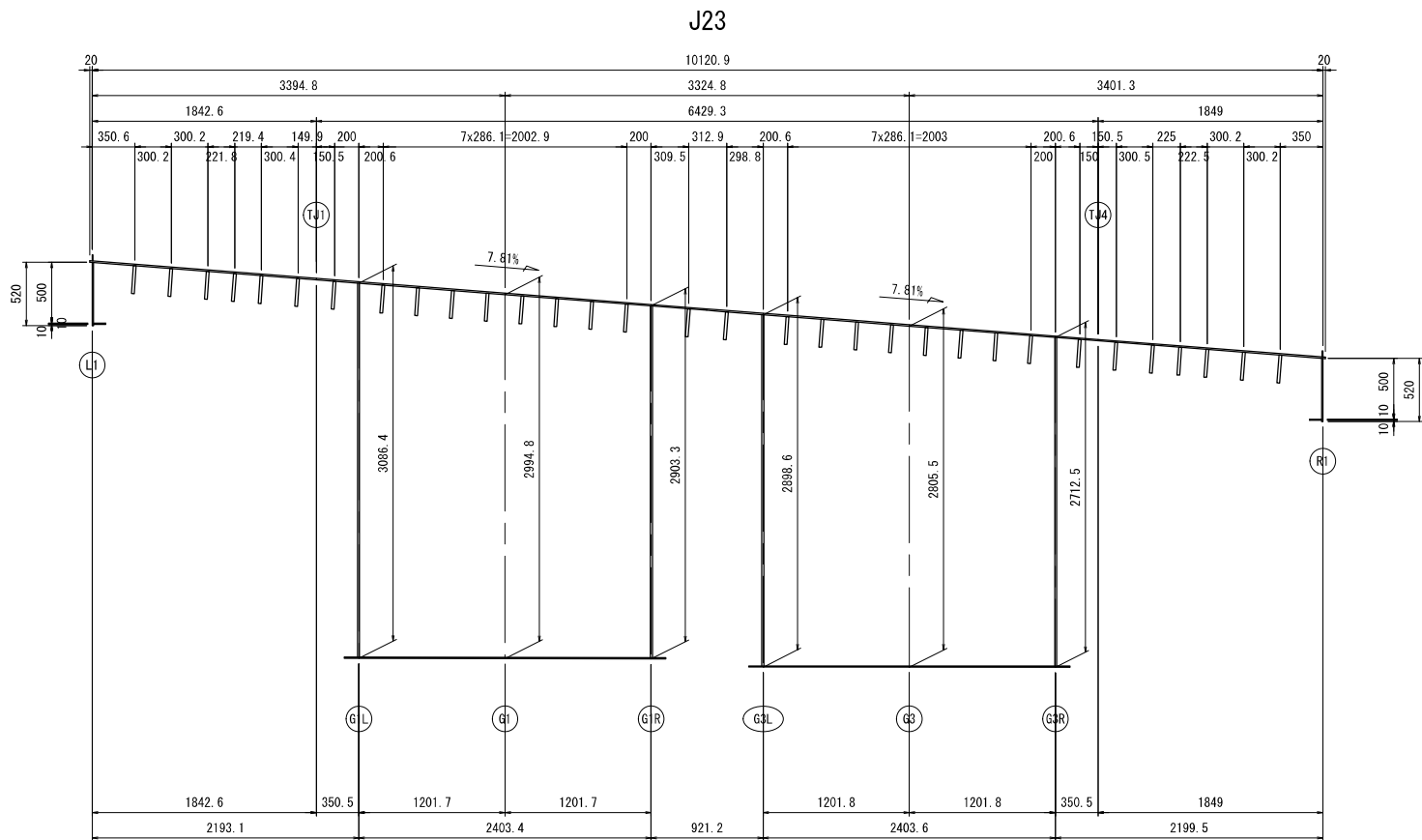
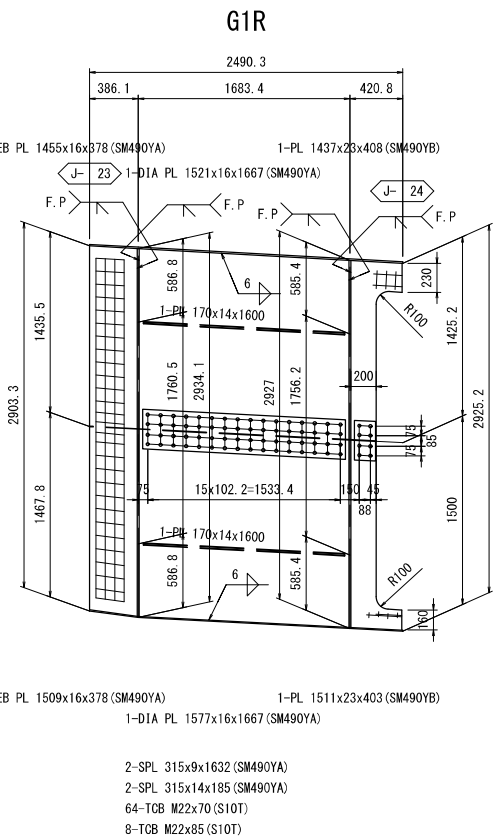
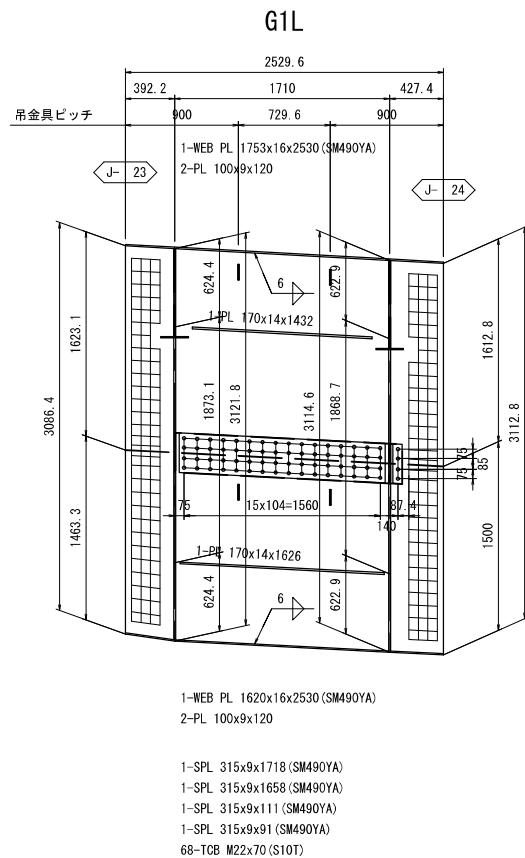
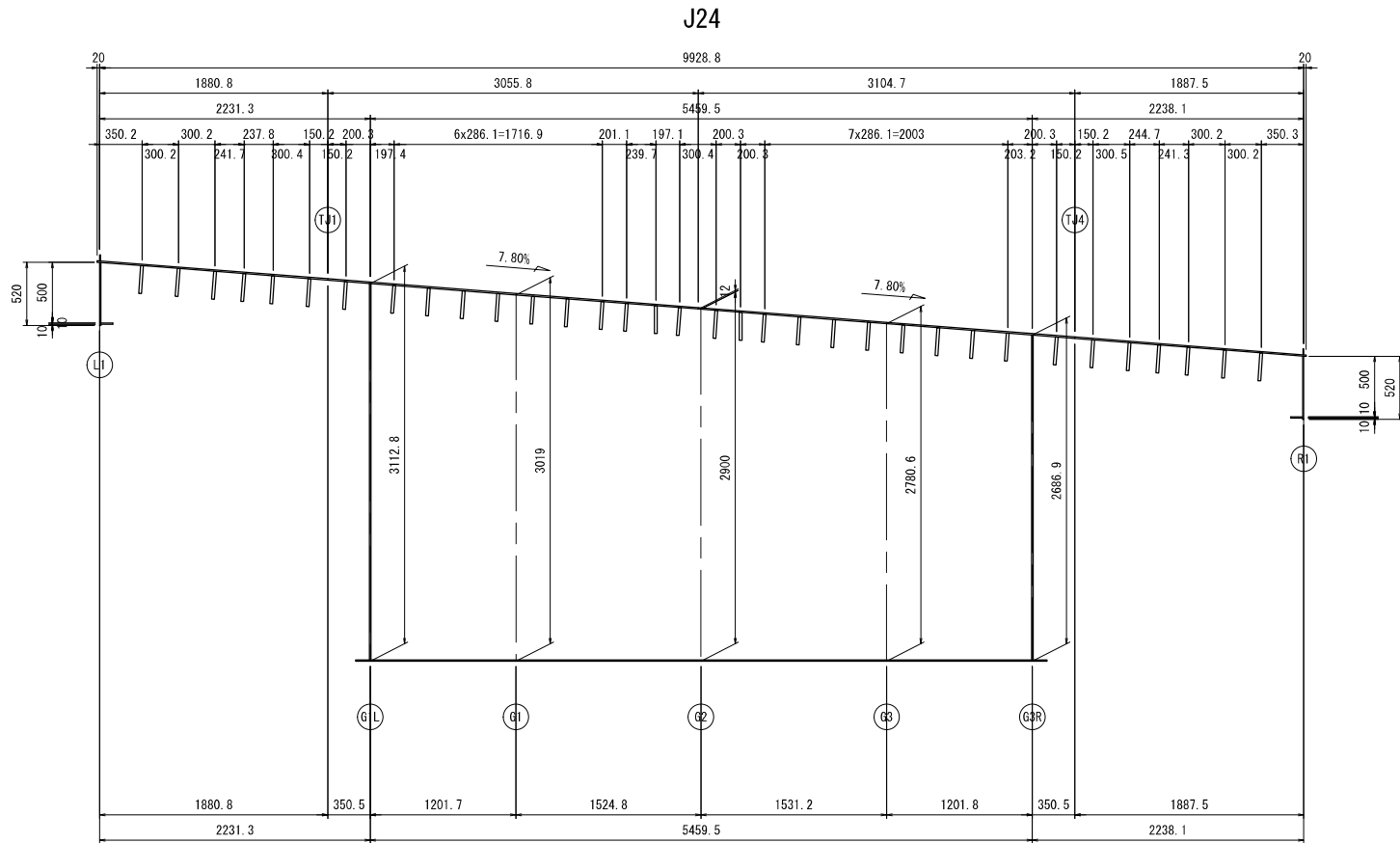
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

配置図



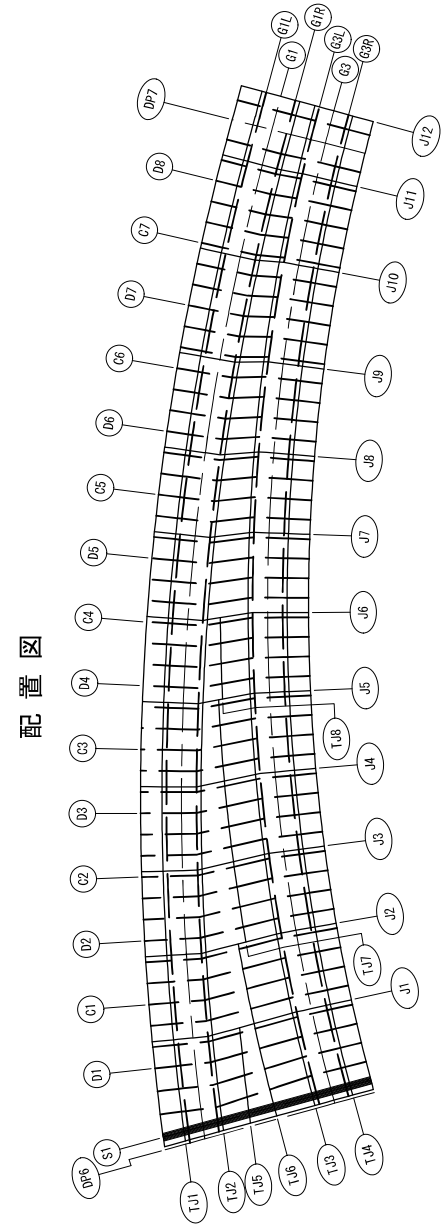
Dランプ第2橋主桁合流部詳細図（その3）

S=1:30



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	182 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 横桁図（その1）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

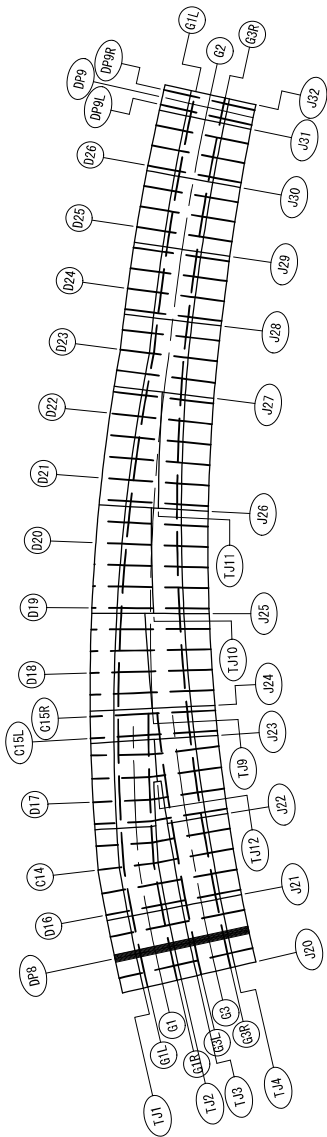
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22（S10T）を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	185 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 横桁図（その4）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

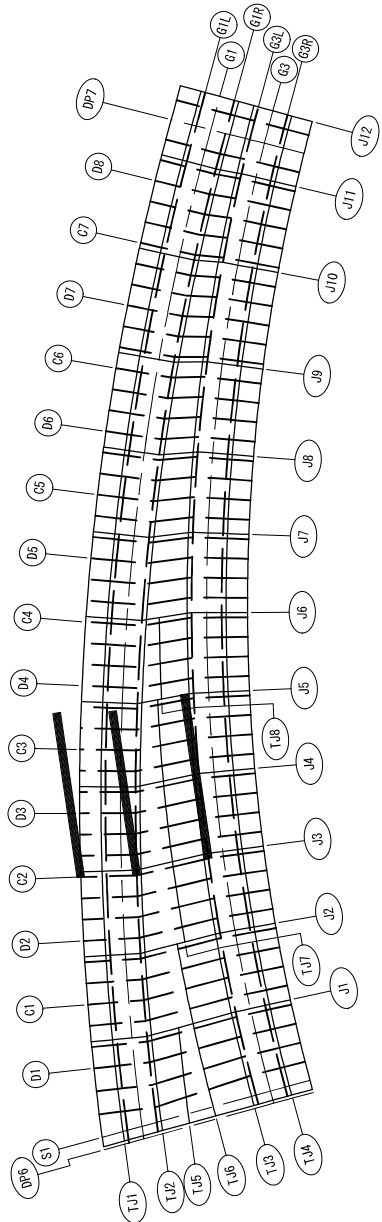
配置図



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	187 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 横桁図（その6）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22（S10T）を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

配置図

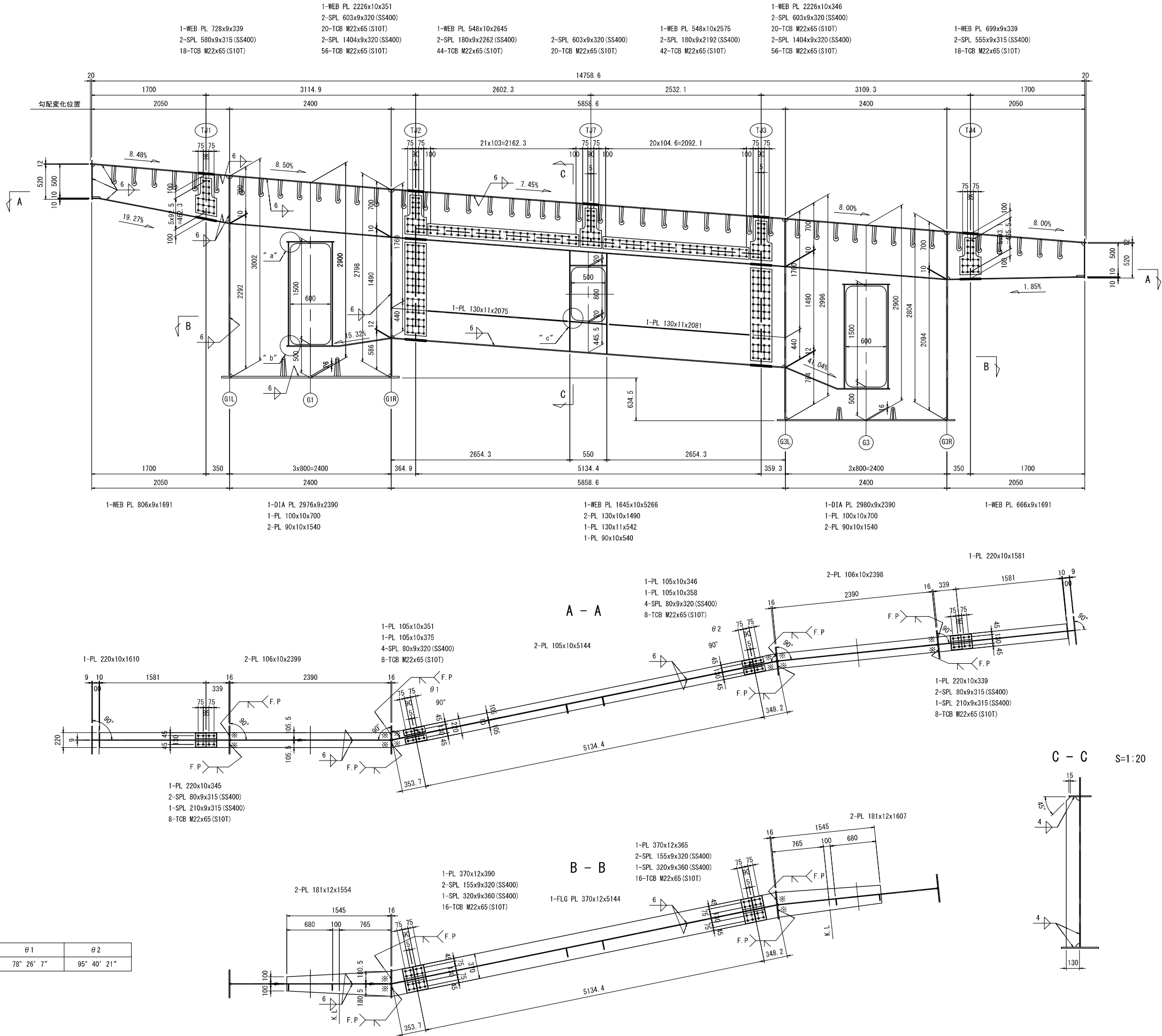


θ 1	θ 2
78° 26' 7"	95° 40' 21"

Dランプ第2橋 横桁図（その6）

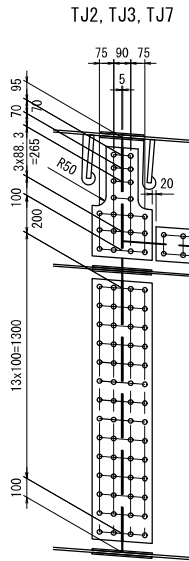
S=1:30

C2



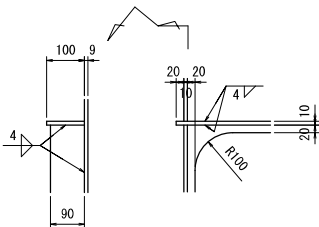
添接部詳細

S=1:20



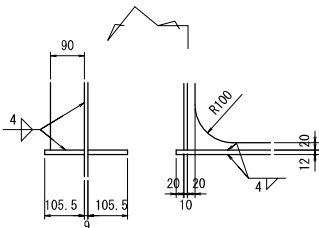
"a" 部詳細

S=1:10



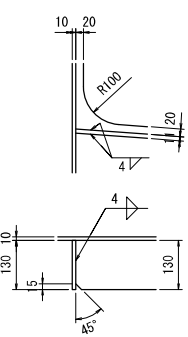
"b" 部詳細

S=1:10



"c" 部詳細

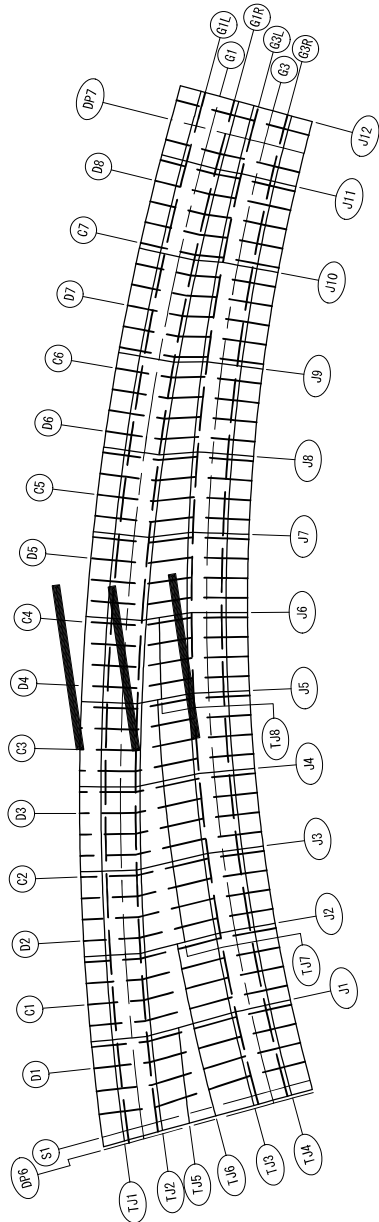
S=1:10



工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	188 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 横桁図（その7）			番 号
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

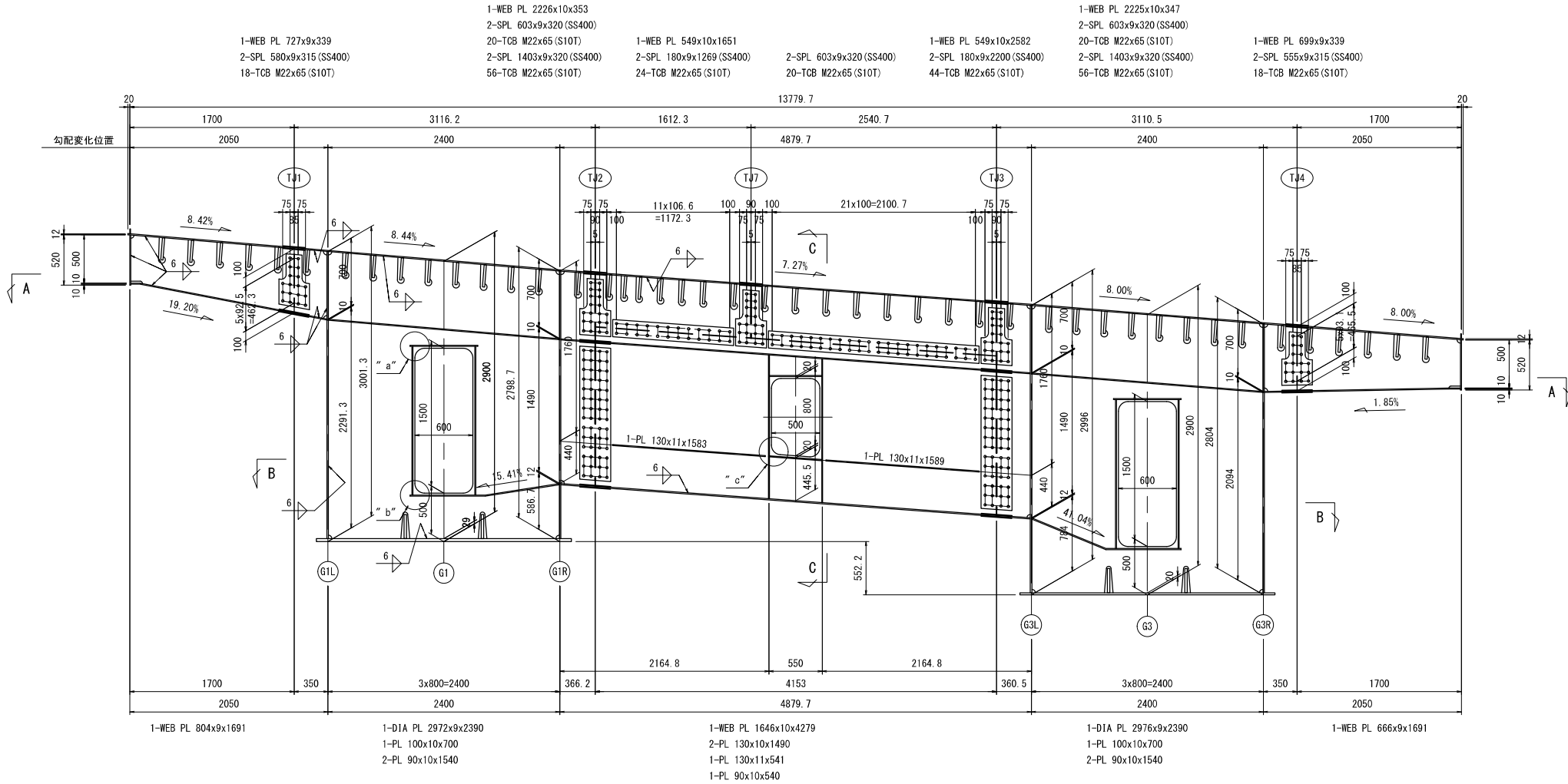
配置図



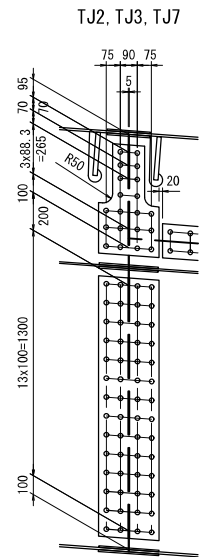
θ 1	θ 2
77° 29' 55"	97° 23' 47"

Dランプ第2橋 横桁図（その7） S=1:30

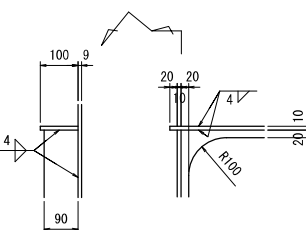
C3



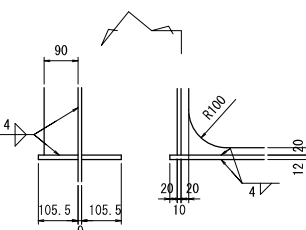
添接部詳細 S=1:20



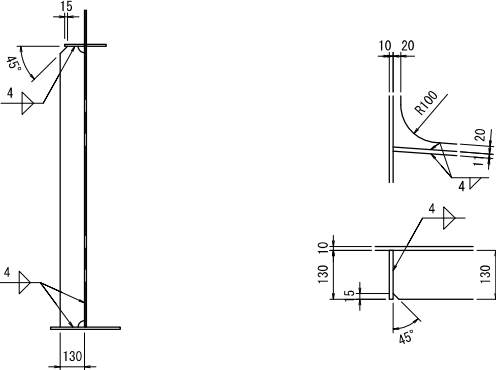
"a" 部詳細 S=1:10



"b" 部詳細 S=1:10



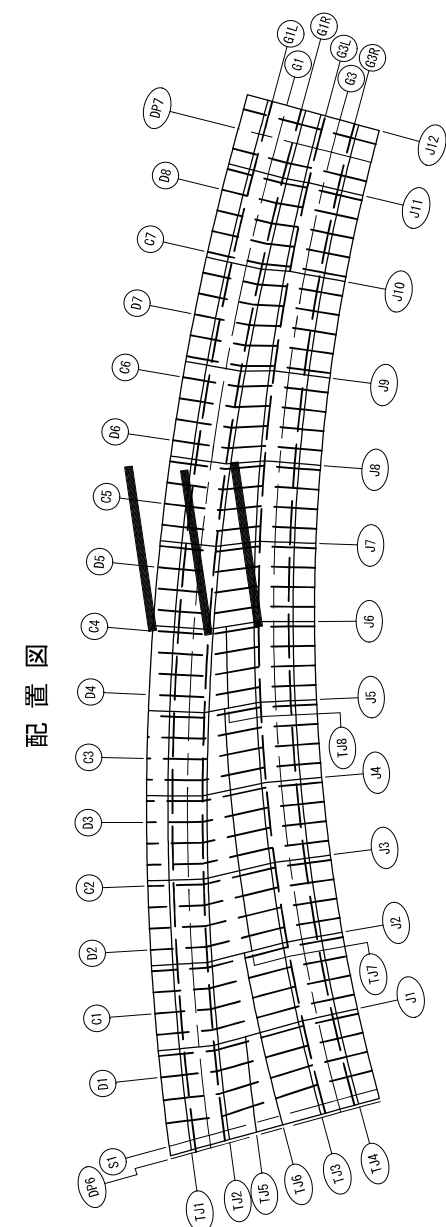
"c" 部詳細 S=1:10



工 事 名	広島高速 5 号線温品 J C T 鎖上り部工事（2 工区）		
図面番号	189 / 339	縮 尺	図 示
図 面 名	Dラン普第2橋 横桁図（その8）		番 号
路線名	広島高速 5 号線		
広島高速道路公社			

注記

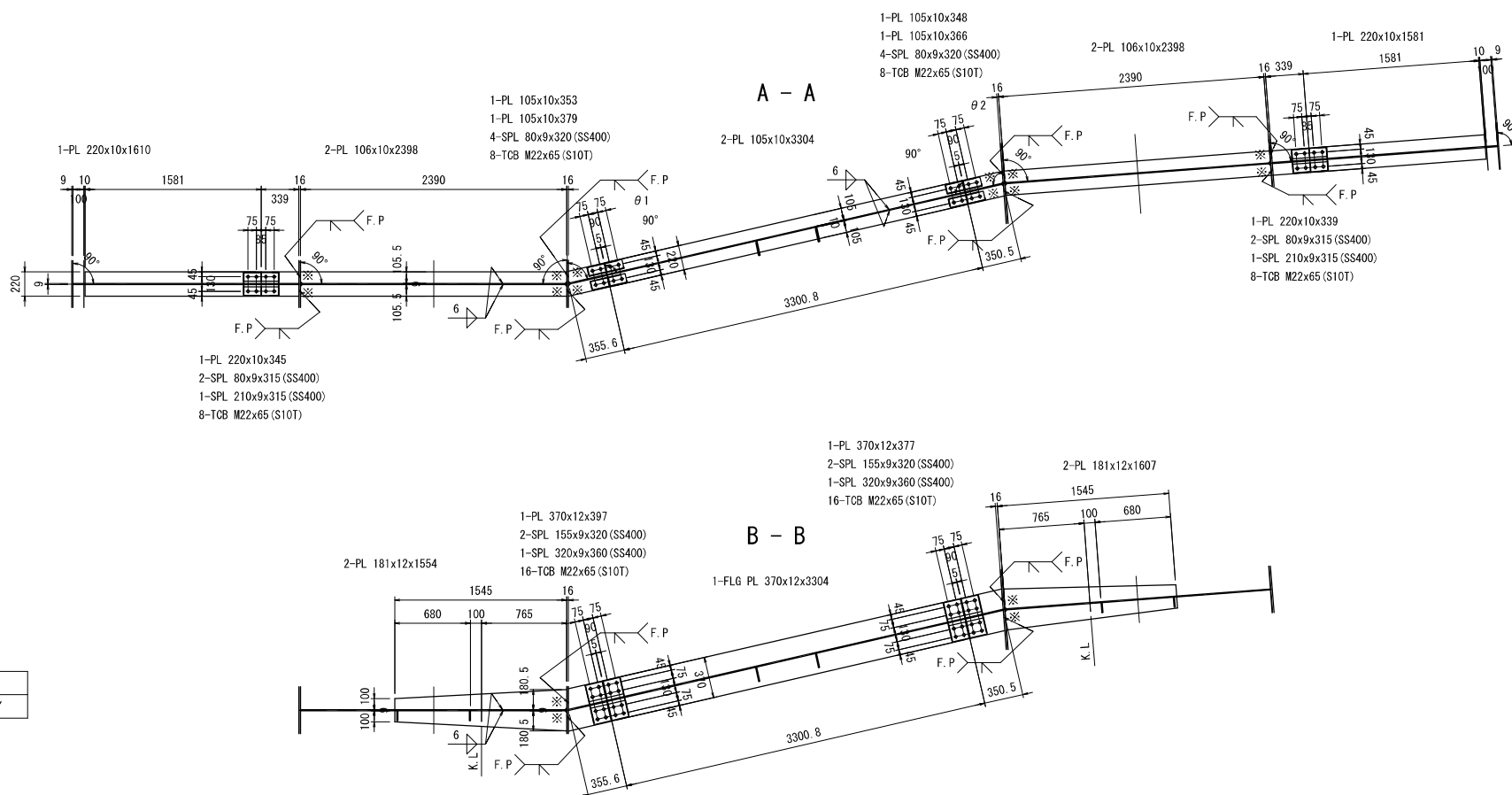
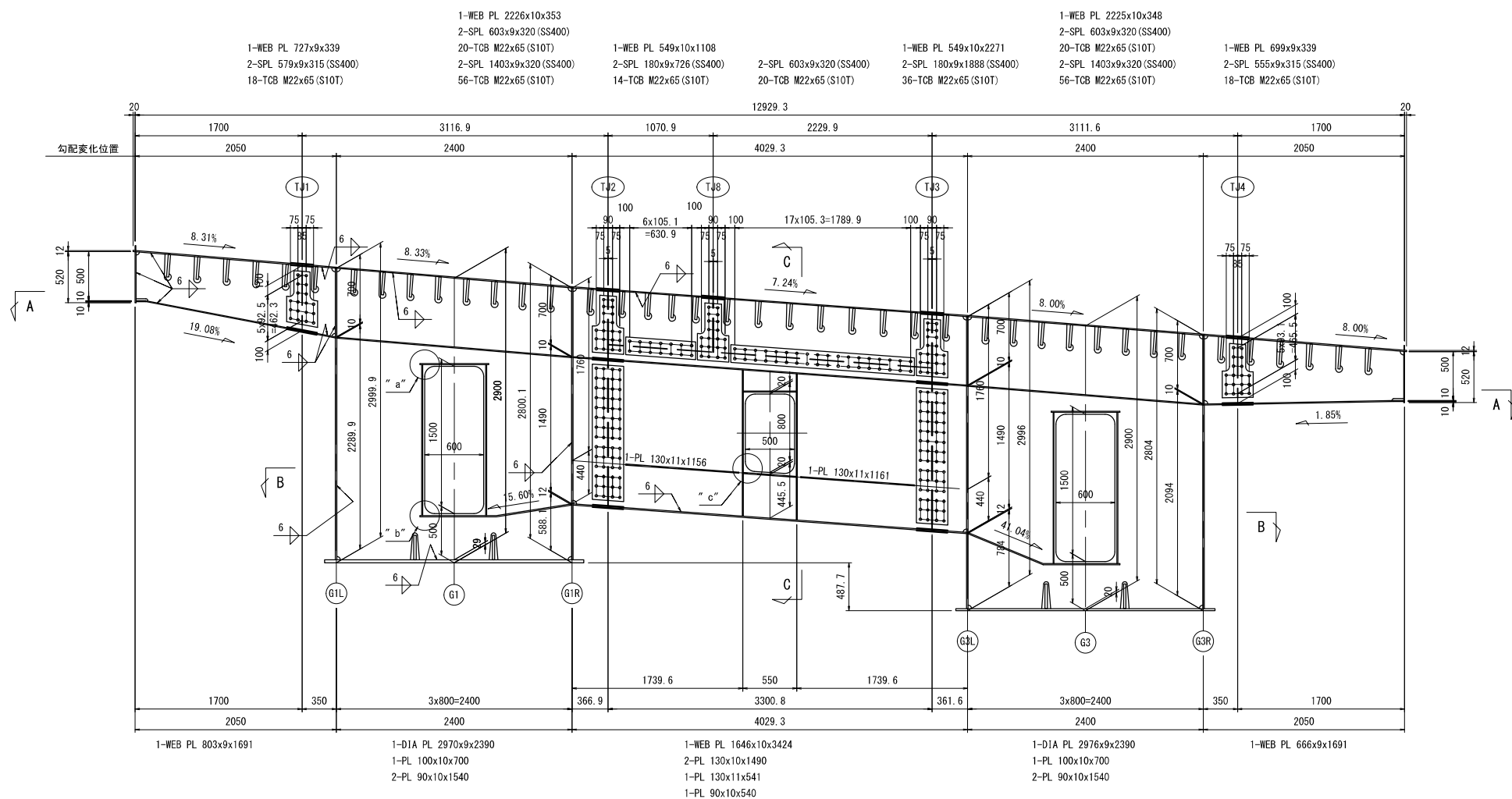
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R-35 とする。
3. ♀印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。 ○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
6. ※印部は、C15溶接後処理とする。



$\theta 1$	$\theta 2$
$77^{\circ} 1' 43''$	$98^{\circ} 39' 14''$

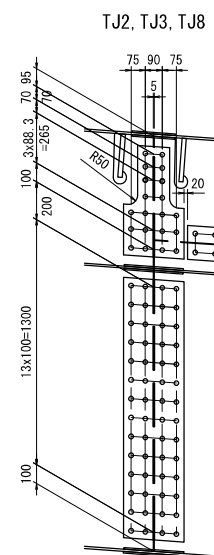
Dランプ第2橋 横桁図(その8) S=1:30

C4



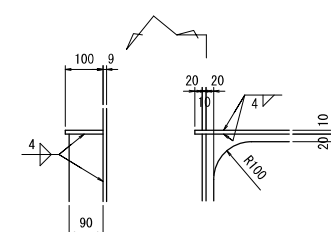
添接部詳細

S=1:20



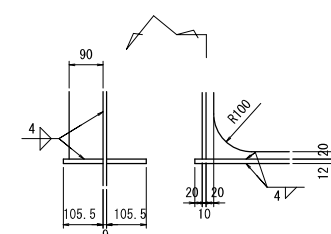
"a" 部詳細

S=1:10



“b”部詳細

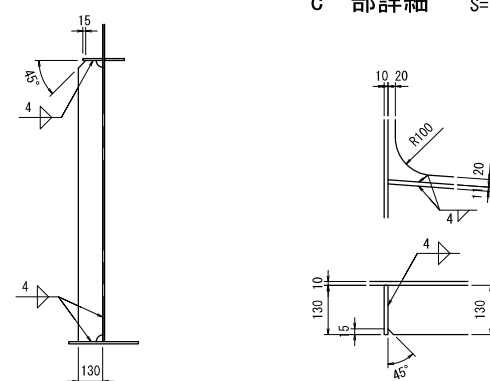
S=1:10



C - C S=1:20

"C" 部詳細

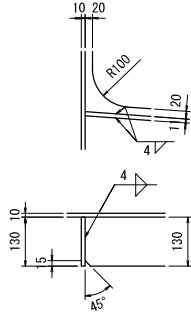
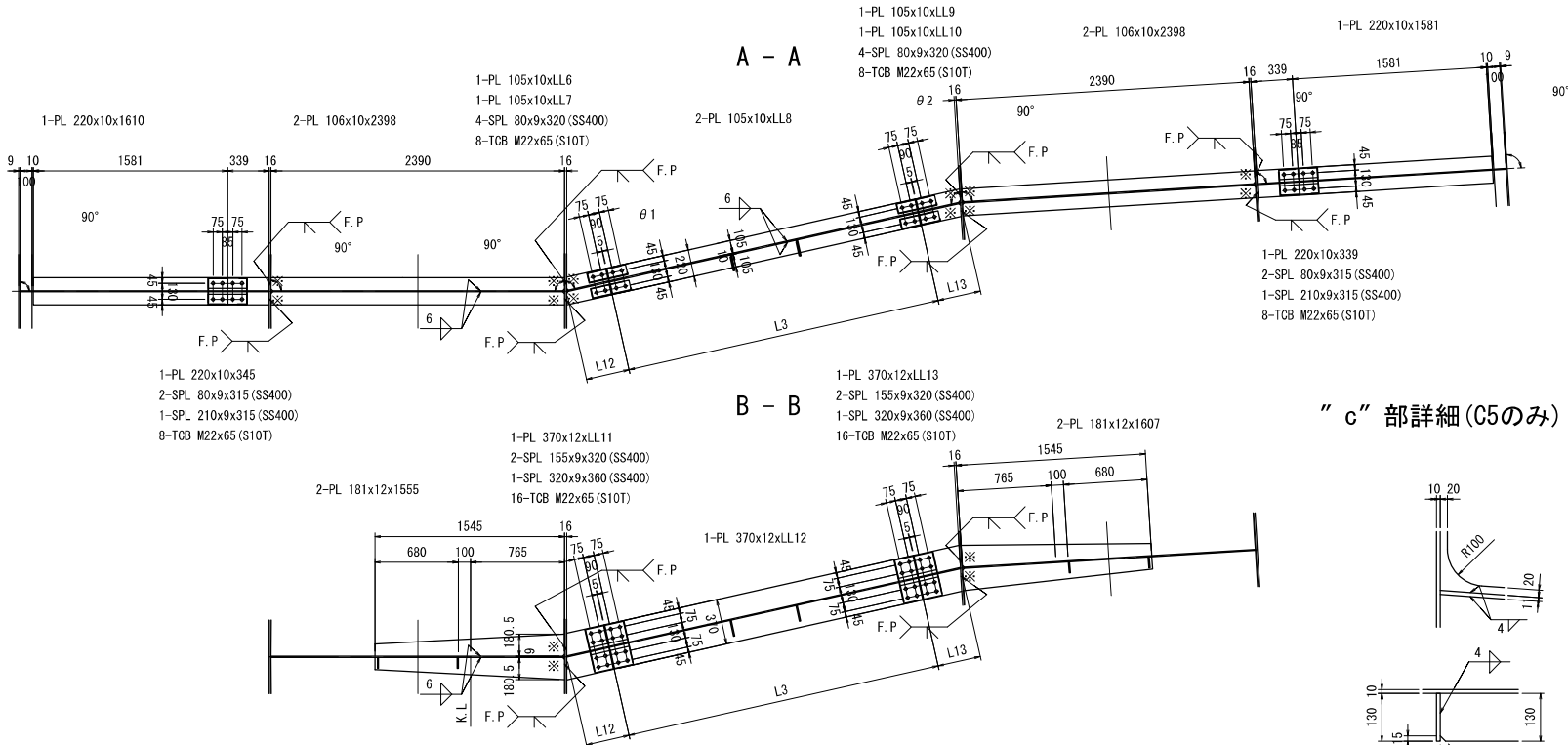
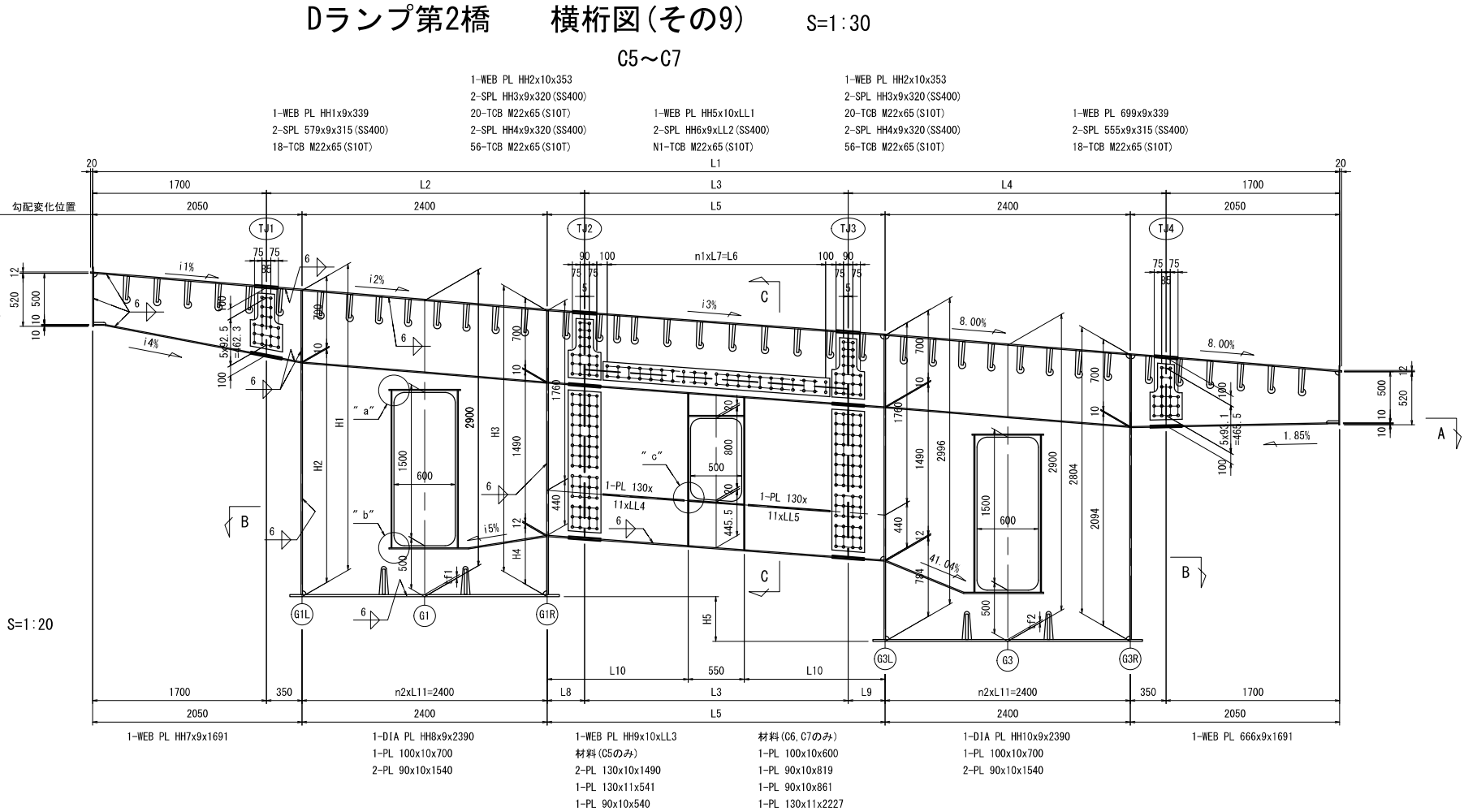
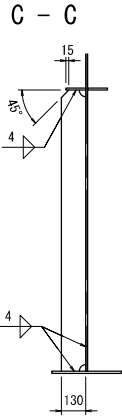
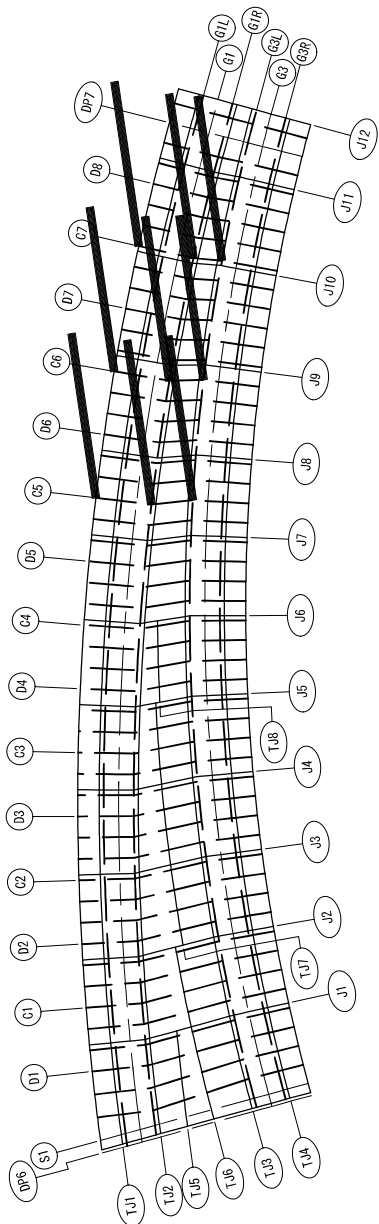
S=1:10



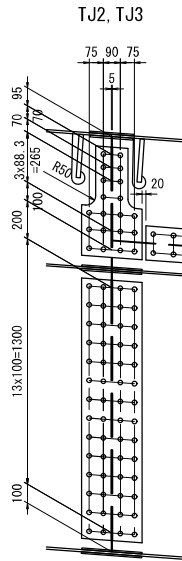
工 事 名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）			
図面番号	190 / 339	縮 尺	図 示	
図 面 名	Dランプ第2橋 横桁図（その9）		番 号	
路線名	広島高速5号線			
広島高速道路公社				

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ※印は、高力ボルト TCB M22（S10T）を示す。
 - 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。○印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

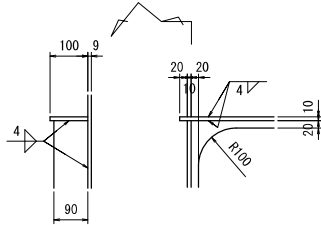
配置図



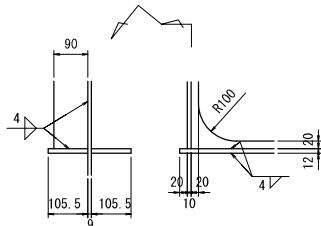
添接部詳細



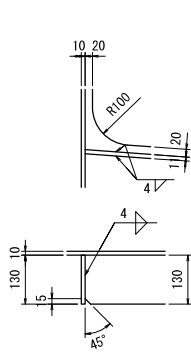
“a”部詳細



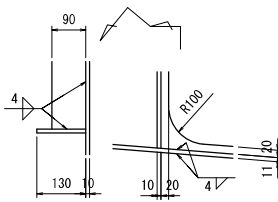
“b”部詳細



“c”部詳細(C5のみ)



“c”部詳細(C6, C7のみ)



	tf1	tf2	θ 1	θ 2	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	L12	L13
C5	21	17	77° 21′ 33″	99° 06′ 38″	12209.0	3116.4	2580.5	3112.1	3309.0	2140.5	107.0	366.4	362.1	1379.5	800	355.1	351.0
C6	14	12	78° 58′ 35″	98° 16′ 50″	11622.6	3114.2	1997.1	3111.3	2722.6	1557.1	103.8	364.2	361.3	1086.3	800	353.0	350.2
C7	16	15	82° 27′ 20″	95° 35′ 20″	11178.1	3110.6	1558.3	3109.2	2278.1	1118.3	101.7	360.6	359.2	864.05	400	349.5	348.1

	H1	H2	H3	H4	H5	HH1	HH2	HH3	HH4	HH5	HH6	HH7	HH8	HH9	HH10	LL1	LL2	LL3	LL4	LL5	LL6	LL7	LL8	LL9	LL10	LL11	LL12	LL13	n1	n2	N1	i1%	i2%	i3%	i4%	i5%
C5	2998.7	2288.7	2801.3	589.3	436.6	727	2226	603	1403	549	180	801	2977	1646	2979	2623	2240	2703	795	800	378	352	2582	367	349	395	2582	379	20	3	42	8.21%	8.22%	7.31%	18.98%	15.75%
C6	2997.7	2287.7	2802.3	590.3	397.5	726	2226	603	1404	548	179	800	2983	1645	2984	2039	1655	2121	504	506	376	351	1998	365	348	393	1998	376	15	3	32	8.14%	8.14%	7.49%	18.90%	15.88%
C7	2996.9	2286.9	2803.1	591.1	369.3	726	2227	604	1405	548	179	799	2980	1645	2981	1601	1216	1686	284	286	373	347	1558	357	346	390	1558	365	11	6	24	8.07%	8.08%	7.74%	18.83%	15.99%

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカラーアップは、全て R-35 とする。
3. ※印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。 ○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さとする。
6. ※印部は、C15溶接後処理とする。



1-WEB PL 222x810x344	1-WEB PL 2227x10x344
2-SPL 600x9x320 (S\$400)	2-SPL 600x9x320 (S\$400)
20-TCB M22x65 (S10T)	20-TCB M22x65 (S10T)
1-WEB PL 548x10x1303	1-WEB PL 699x9x339
2-SPL 1406x9x320 (S\$400)	2-SPL 1406x9x320 (S\$400)
56-TCB M22x65 (S10T)	56-TCB M22x65 (S10T)
2-SPL 917x9x180 (S\$400)	2-SPL 655x9x315 (S\$400)
18-TCB M22x65 (S10T)	18-TCB M22x65 (S10T)

[illegible][illegible]

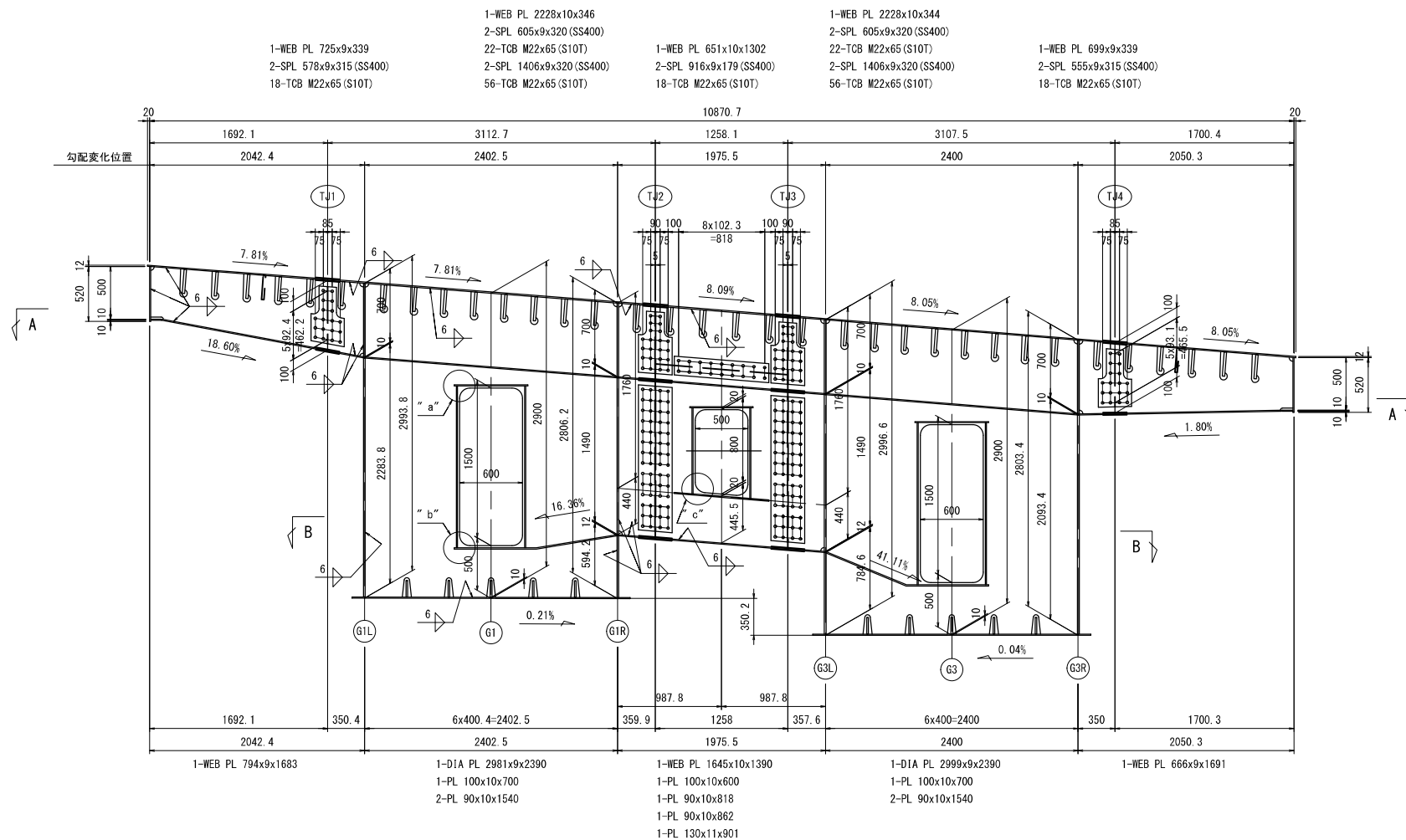
Technical drawing of a mechanical part. The part has a total width of 90 and a total height of 105.5. The base is divided into two sections, each 105.5 wide. The top section is 90 wide. A section line is shown on the left side, indicating a cross-section. The drawing also shows a detail of a fillet with a radius of R1000 and a section line on the right side.

	$\theta 1$	$\theta 2$	$\tau f1$	$\tau f2$	Hf1	Hf2
C8	89° 59' 46"	90° 00' 14"	17	16	2979	2980
C9	89° 59' 48"	90° 00' 12"	10	10	2986	2986
C10	89° 59' 51"	90° 00' 10"	10	10	2986	2986
C11	89° 59' 53"	90° 00' 07"	10	10	2986	2986
C12	89° 59' 55"	90° 00' 05"	10	10	2986	2986
C13	89° 59' 58"	90° 00' 02"	10	10	2986	2986

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーップは、全て R-35 とする。
3. ※印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、
完全溶込み溶接を用いる。 ○印内の数字は、
部分溶込み溶接の開先深さを示す。
6. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

C14



Technical drawing A-A showing the plan view of a bridge structure. The drawing includes dimensions in feet and inches, bearings, and stationing. Key components include:

- 1-PL 220x10x1600
- 2-PL 106x10x2405
- 2-PL 105x10x1257
- 2-PL 106x10x2398
- 1-PL 220x10x1584
- 1-PL 220x10x350
- 2-SPL 80x9x315 (SS400)
- 1-SPL 210x9x315 (SS400)
- 8-TCB M22x65 (S10T)
- 1-PL 105x10x347
- 1-PL 105x10x349
- 4-SPL 80x9x320 (SS400)
- 8-TCB M22x65 (S10T)
- 1-PL 105x10x345
- 1-PL 105x10x347
- 4-SPL 80x9x320 (SS400)
- 8-TCB M22x65 (S10T)
- 1-PL 220x10x339
- 2-SPL 80x9x315 (SS400)
- 1-SPL 210x9x315 (SS400)
- 8-TCB M22x65 (S10T)

[illegible]

TJ2, TJ3

90

75 75

5

R50

20

100

200

348.3

70

95

265.5

13x100=1300

Technical drawing of a mechanical part. The drawing includes a top view and a side view. The top view shows a rectangular base with a width of 90 and a height of 105.5. A section line is drawn across the top view, indicating a section cut. The side view shows a profile with a radius of R100 and a height of 12. The drawing is labeled with dimensions: 90, 105.5, 10, 20, 20, 12, 40, and 4. A section line is also shown in the top view.

